

# 『支部活動を振り返って - 四半世紀の総括』

平成10(1998)年度から令和4(2022)年度までの25年間の記録

日本写真測量学会関西支部 **前**支部長  
日本大学 生物資源科学部 森林学科

吉村充則



# 副産物を見つけました

法政大学工学部 大嶋 太市

社団法人日本写真測量学会が今年で20周年を迎え、益々発展していることは、会員として心からの喜びを感じるものである。今回学会誌特集号を発行するに当り、編集委員からの御依頼で20年の歩みを書くことになったが、前半12年は事務局長として、学会の事務全般にたづなわったのでその内容についてよく分っているが、後半8年は役職を離れているので記録に不十分な点があるかもしれないことをおことわり申し上げ、お気づきの点は御指し下さるようお願い申し上げます。

学会が今日のような発展をとげるようになったのは、先輩諸兄の並々ならぬ御苦心と御努力のおかげによるものであり、又会員の皆様の御支持の賜であることを思い感謝にたえない所である。

この創立20周年というのは、現在の学会が昭和37年1月20日に発足して以来20年目に当るのであるが、実際には日本では既に昭和22年に旧日本写真測量学会が組織されている。新しい学会の20年の歩みを語る場合には、先ず旧学会の歩みをふりかえってみる必要があると思う。

## 1. 旧日本写真測量学会について

旧日本写真測量学会（会長元建設省国土地理院長 武藤勝彦氏）は武田通治氏（元日本大学教授）と藤邦彦氏（東洋航空事業株式会社顧問）の両氏を中心となって組織され、昭和22年6月7日に総会を開いて発足した。

以来昭和31年10月にいたる9年4ヶ月の間に講演会、研究会を開き、8冊の学会誌を発行し、写真測量の専門図書4点を出版する等、戦後の写真測量の技術の発展に大いに貢献した。昭和31年、経済上、組織上の理由から日本測地学会に合併吸収されたが、その間に果たした業績は戦後の日本の写真測量の技術のレベル向上に役立ったばかりでなく、現在の新しい日本写真測量学会の基礎を築いたものといえる。合併後の写真測量に関する研究発表や情報交換は主として測地学会の年次講演会や例会を通じて僅かではあったがおこなわれてきた。

## 2. 写真測量談話について

然し写真測量に関心を持つ有志の人々は、写真測量の情報交換の場として測地学会とは別に会合をもって、情報交換をするのが望ましいと考え、昭和31年12月より有志（尾崎幸男氏、藤滋彦氏、直原勝一氏、西尾元充氏、太嶋太市）によって写真測量談話会が組織され、昭和36年の2月7日に新しい日本写真測量学会を再建するための設立準備会の第一回の会合がもたれるまで続けられた。その間27回の談話会がもたれ新しい写真測量技術の情報交換の場として重要な役割を果たし、共に新しい写真測量学会設立に対しても積極的に支持をし、貢献をした。

## 3. 写真地質グループの集りについて

写真測量談話会とともに、当時の写真測量関係の有志の集りとして、写真地質関係のグループの集りが昭和35年の秋、佐々保雄氏（北海道大学名誉教授）と西尾元充氏（画像工学研究所長）の御努力で結成され、空中写真判読の研究と研究所相互の連絡がおこなわれた。短期間の活動であったが日本の判読技術史の中で見おとすことのできない成果があったと思う。このグループは日本写真測量学会が昭和37年1月に設立されると同時に発展的に解散し、学会の第7部会活動に編入された。

1960年（昭和35年）ロンドンでの写真測量国際会議に出席した丸安隆和氏（東京大学名誉教授）尾崎幸男氏（パシフィック航業株式会社技師長）、藤重彦氏（東洋航空事業株式会社常務取締役）、佐々波清夫氏（日本大学教授）の4氏は国際会議で諸外国の実情をみて、日本写真測量学会の創立が急務であることを現地で話しあわせ、それが今日の学会が創立されるきっかけとなった。何回か学会創立の準備会がもたれ斎藤正次氏（元地質調査所長）中野尊正氏（東京都立大学教授）中島巖氏（林業試験場経営二科長）丸安隆和氏の4氏を中心として設立趣意書の作成、役員決定、会員の申込みを具体的におこなった。かくして新しい日本写真測量学会は昭和37年1月20日に設立総会を開いて発足することになった。

総会の第1回会合で故久留島秀三郎氏を会長に、理事長に奥田豊三氏（元国土地理院長）常務理事に丸安隆和氏、武田通治氏、斎藤正次氏、中野尊正氏、中島巖氏、笠松清氏、監事に細田重蔵氏が互選された。

学会活動は理事会が中心となっておこなわれ、学会の組織は総務、企画、経理、編集、渉外の5部局で、これらの事務的な活動は各担当理事によって運営された。

学会の主な年中行事としては

1. 毎年1回又は2回の年次講演会
2. 各部会の研究会、講演会
3. 特定テーマによるシンポジウムの開催
4. 講習会の開催
5. 年4回学会誌の発行、および特集号（不定期）の発行

## 5. 国際シンポジウムの開催

1966年10月には国際写真測量学会第5部会（応用写真測量：部会長丸安隆和氏、セクレタリー中野尊正氏）の担当団として東京都市センターホールで写真測量の土木工学および工業への応用問題を討議する国際シンポジウムを日本写真測量学会が中心となって開催した。34ヶ国285名が参加した。丸安教授が1972年～1976年までISPの副会長に任命されたことは特筆すべきことである。

1978年5月には国際写真測量学会第1部会（データ収集および機器のキャリブレーションと画質：部会長中島巖氏、セクレタリー村井俊治氏）の国際シンポジウムが国立教育会館でおこなわれ参加者は13ヶ国132名で主として(1)画質の問題 (2)カメラのキャリブレーション (3)リモートセンシングの応用 (4)各国の衛星計画の内容について討議がおこなわれ意義深い会議で日本の写真測量の実情を知ってもらうよい機会となった。

## 6. 学会本部のうつりかわりと法人の認可

昭和37年の学会の創立当時の本部は東京都千代田区九段4丁目8-28におかれたが昭和45年に東京都千代田区6番町4西牧ビル内にうつされた。然し実際の学会実務は東京都港区六本木7-22-1東大生産技術研究所第5部丸安研究室でおこない会計事務は国際、アジア、パスコ、東洋の測量会社4社で持ち廻り分担をお願いした。

昭和41年7月15日に日本写真測量学会は文部省から社団法人として正式に認められた。名実共に新しい学会の歴史のはじまりでもある。

昭和49年4月に丸安教授が東大生産技術研究所より本郷の東大工学部に移られることになり、学会の事務局も東大本郷の土木工学科の丸安教授室におかれることになった。昭和50年6月より学会の事務局の本部は世田谷の三軒茶屋にあった測機舎の本社に移され昭和51年3月まで続いた。そ

# 関西支部との関わりは 1996年ISPRS ウィーン大会参加がきっかけ

平成8(1996)～9(1997)年度の支部役員

氏名	役職	勤務先
1 福永 宗雄	会長	日本テクノ株式会社
2 木全 敬蔵	副支部長	写測エンジニアリング(株)
3 斉藤 敬三	幹事長	アジア航測株式会社
4 倉田 晃	監事	株式会社 ジェクト
5 森 忠次	幹事	福山大学工学部 土木工学科
6 宮川 勇二	幹事	近畿地方建設局企画部企画課
9年度から富田耕司		
7 太島 和雄	幹事	国土地理院近畿地方測量部
9年度から中堀義郎		
8 岡本 厚	幹事	京都大学工学部 環境地球工学教室
9 石川 善朗	幹事	京都府立大学 農学部森林科学科
10 森 宣彦	幹事	大阪工業大学 情報科学部情報処理科
11 小林 和夫	幹事	近畿測量専門学校
12 秋山 忠夫	幹事	大阪府土木部
9年度から林秀和		
13 藤田 文弘	幹事	朝日航洋株式会社
14 高尾 修一	幹事	ライカ株式会社大阪支店
15 木村 雅俊	会計	内外エンジニアリング株式会社

## 関西支部活動報告

平成8年度第16回関西支部総会及び講演会が6月10日に開催されましたので、その概略を報告します。

・第16回支部総会：大阪薬業年金会館において開催，参加者40名

本年は、役員改選の年にあたり、2期4年支部長をつとめられた枝村俊郎氏(摂南大学)、幹事長の西村明氏(国際航業(株))、監事の千葉進氏((株)かんこう)が退任、支部長には福永宗雄氏((株)日本テクノ)、幹事長に斉藤敬三氏(アジア航測(株))、監事に倉田晃氏((株)ジェクト)が選出された。副支部長は木全敬蔵(写測エンジニアリング(株))が再任。新支部長より、森忠次氏(福山大学)、宮川勇二氏(近畿地建)、太島和雄氏(近畿地測)、岡本厚氏(京都大学)、石川善朗氏(京都府立大学)、森宣彦氏(大阪工業大学)、小林和夫氏(近畿測専)、秋山忠夫氏(大阪府土木部)、藤田文弘氏(朝日航浄(株))、木村雅俊氏(内外エンジニアリング(株))、高尾修一氏(ライカ(株))が新幹事に委嘱された。

・特別講演会：支部総会にひきつづきおこなわれた。これまでは、学会外の方において、学会活動に関わりのある話や学会員が興味をもっている関西地区におけるトピックスについて講演していただき、その後、会員が日常業務の中から出た話題を提供しあう技術講演会をおこなってきた。

本年は、岡本厚氏が実施された「写真測量による阪神大震災調査」と岡本氏に協力したパスコ、国際、アジアの仕事が、特別講演会、技術講演会の主旨にぴったり合っているということで講演会のお膳立てを岡本氏におまかせした。

テーマ：写真測量による阪神大震災調査

1. 調査方法の特性 京都大学 岡本厚氏
2. 地盤永久変位量の精密検出 (株)パスコ 長谷川博幸氏
3. 航空写真による被災マップの作成 国際航業(株) 武智国加氏
4. デジタルオルソの作成とその利用 アジア航測(株) 内田修氏

ISPRSに関西からも何人かが参加されるので、その土産話の報告会をウィーン会議閉会後の早い機会に開くことを決めて散会した。

平成8(1996)年度支部活動報告より

# ISPRS会議報告会を経て平成10(1988)年度から支部役員に

## 関西支部活動報告

平成8年10月15日に ISPRS XVIII ウィーン会議報告会、平成9年6月24日に第17回関西支部総会及び講演会、技術発表会を開催しましたので、その概要を報告します。

### 1) ISPRS XVIII ウィーン会議報告会 於大阪薬業年金会館 30名出席

報告者は、次のとおり

会議全般とV部会について	福山大学工学部	森 忠次氏
II部会について	大阪工業大学情報科学部	森 宣彦氏
III部会について	京都大学工学部	岡本 厚氏
<u>IV部会について</u>	<u>京都大学東南アジア研究センター</u>	<u>吉村充則氏</u>
機器展示について	(株)シー・エム・シー	松野孝弘氏
エクスカッションについて	朝日航洋(株)	登井紹公氏

報告会終了後会館内のレストランで懇親会をおこない、報告会では言えなかった裏話に花が咲いた。

### 2) 平成9年度関西支部総会及び講演会、技術発表会 於大阪薬業年金会館 55名出席

幹事の宮川勇二氏(近畿地建)、太島和雄氏(近畿地方測量部)、秋山忠夫氏(大阪府土木部)の御三方が転勤されましたので、それぞれ後任の富田耕司氏、中堀義郎氏、林秀和氏に幹事を委嘱した。

#### イ 特別講演会:「デジタル画像の基礎知識」 関西カラー写真(株) 岡崎一夫氏

岡崎氏は、画像工学の専門学校でデジタル画像処理を学ばれ、関西カラー写真(株)へ入社コンピューター画像処理の責任者となって活躍されておられる。色とコンピューターの話の分かり易く説明され、ユーザーである会員にとって、よい教養講座となった。関西カラー写真(株)で処理されたカラー写真のモザイクが展示され、講演内容の理解を深める一助となった。

#### ロ 技術発表会:特別講演会に続いて行われ、発表者は次の通り。

「GPS アンテナの取り付け方法」	朝日航洋(株)	北野智也氏
写真測量による工業計測への利用	(株)ジェクト	横山隆男氏
住居表示整備支援システムについて	写測エンジニアリング(株)	小沢良雄氏
建設省官民連帯共同研究「GISの標準化について」		
	内外エンジニアリング(株)	木村雅俊氏

平成9(1997)年度支部活動報告より

## 関西支部活動報告

平成10年6月29日(月)第18回関西支部総会及び講演会、技術発表会を大阪府社会福祉会館に於いて開催しましたので、その概要を報告します。

### 1. 第18回(平成10年度)関西支部総会

本年は、役員改選の年にあたり、新役員が下記のように選任されました。

支部長 森 忠次氏(福山大学工学部)

副支部長 小林和夫氏(近畿測量専門学校)

幹事長 藤堂正裕氏(国際航業(株))

監事 増川真澄氏(写測エンジニアリング(株))

そして、新支部長より次の幹事が指名されました。

幹事 富田耕司氏(建設省近畿地方建設局)

前野政克氏(国土地理院近畿地方測量部)

岡本 厚氏(京都大学工学部)

森 宣彦氏(大阪工業大学情報科学部)

石川善朗氏(京都府立大学農学部)

吉村充則氏(京都大学東南アジア研究センター)

林 秀和氏(大阪府土木部)

千葉 進氏((株)かんこう)

河原利勝氏((株)パスコ)

木全敬蔵氏(写測エンジニアリング(株))

役員、幹事ともに任期は2年です。

### 2. 特別講演会

#### 1)「商用高分解能衛星リモートセンシング画像」

日立製作所 谷口吉彦氏

京都大学の吉村先生の紹介で、実現した。高分解能衛星リモートセンシング画像については興味を

平成10(1998)年度支部活動報告より



# 熊谷新支部長が新たに支部役員として加わり 空間情報ワーキンググループの基礎作りを始める

平成10(1998)～11(1999)年度

	氏名	役職	勤務先
1	森 忠次	支部長	福山大学工学部 土木工学科
2	小林 和夫	副支部長	近畿測量専門学校
3	藤堂 正裕	幹事長	国際航業(株)
4	増川 真澄	監事	写測エンジニアリング(株)
5	富田 耕司	幹事	近畿地方建設局 企画部企画課
6	前野 政克	〃	国土地理院 近畿地方測量部
7	岡本 厚	〃	京都大学工学部 環境地球工学教室
11年度から熊谷樹一郎(摂南大学)			
8	森 宣彦	〃	大阪工業大学 情報科学部情報処理科
9	石川 善朗	〃	京都府立大学 農学部森林科学科
10	吉村 充則	〃	京都大学 東南アジア研究センター
11	林 秀和	〃	大阪府土木部 土木監理課
12	木全 敬蔵	〃	写測エンジニアリング(株)
13	川原 利勝	〃	(株) パスコ
14	千葉 進	会計	(株) かんこう

## 関西支部活動報告

平成10年10月18日 岡本先生のお世話でアンドレアスハゲ氏を迎え講演会を開催、平成11年6月29日(火)第19回関西支部総会及び講演会、技術発表会を大阪府薬業年金会館において開催し、翌6月30日見学会を開催しましたので、その概要を報告します。

技術講演会 於：大阪府社会福祉会館

「GPS 測量に関する最近の話題」 ジオナップ社 アンドレアスハゲ氏

### 第19回(平成11年度)関西支部総会及び講演会

#### 1. 支部総会

長年関西支部の活動に貢献された京都大学工学部 岡本 厚先生が急逝され、幹事に欠員が生じたので、支部長は摂南大学工学部 熊谷樹一郎先生を幹事に指名した。

#### 2. 特別講演会

- 1) 「測量及び地図に関する最近の話題」 国土地理院近畿地方測量部長 前野政克氏
- 2) 「光切断レンジファインダの高速化と高精度化」 大阪大学大学院基礎工学研究科 佐藤宏介先生

#### 3. 技術発表会

- 1) 「レーザーによる地形計測システムについて」 朝日航洋株式会社 山本尊春氏
- 2) 「官民連帯共同研究(GISの標準化)」 内外エンジニアリング株式会社 木村雅俊氏
- 3) 「GISを用いた琵琶湖保全のための環境解析」 株式会社パスコ 高岸 且氏
- 4) 「デジタル図化機によるオルソフォト」 写測エンジニアリング株式会社 戸口伸二氏

#### 見学会

##### 1. 奈良先端科学技術大学院大学

- 1) 講演：「全方位画像センサとその応用」 情報科学研究科 山澤一誠先生
- 2) 見学：情報科学研究科の研究室

##### 2. ATR

- 1) 講演：「マルチメディア技術を用いた将来の通信」 ATR 社長 中津良平氏

## 空間情報ワーキンググループ(空間情報 WG)の結成と話題交換会のご案内

(社)日本写真測量学会は、一つの物体から地球に至るさまざまなものを対象とし、その位置・形状および特性とその変動に関する情報を計測し利用するための技術・科学について、学術の振興に寄与することを、その使命として掲げています。本年度より「空間情報の計測と利用」を新たな旗印として活動をしております。これには、写真測量・画像計測・リモートセンシング・地理情報システム(GIS)・汎地球航法衛星システム(GNSS)などが含まれます。

同学会関西支部においては、これまで春に講演会を開催するなどの活動を行ってまいりました。本年夏にはこれに加えて支部では初めて GIS 実習会を開催し、空間情報に関する普及啓蒙活動を始めました。参加者の皆様からの評判も上々で、新たな流れを感じざるを得ません。

このような状況から、支部では、産官学の垣根にとらわれない新たな活動を模索すべく、標記ワーキンググループを結成することとなりました。まったく新たなグループですので、空間情報に関連するより多くの皆様の意見を取り入れ、運営していきたいと考えております。

つきましては、結成にあたりまして第一回のワーキンググループ会議と話題交換会を下記要領で開催します。「空間情報の計測と利用」に興味をお持ちのより多くの方々参加をお待ちいたしておりますので、皆様、是非会場に足をお運びいただけますようお願い申し上げます。

## 記

開催日時：2000年12月8日(金曜日) 16:30~18:30

会場：摂南大学寝屋川学舎7号館7階第3会議室

正門から示される順路に従ってください(寝屋川市池田中町17-8)

プログラム：16:30~16:50 ワーキンググループ趣旨説明

16:50~17:50 話題提供と質疑応答・討論

熱帯林の環境調査における空間情報計測と利用の試み  
京都大学東南アジア研究センター 吉村充則

17:50~18:30 今後のWG活動方針について

終了後、話題交換サロンを計画しています。

以上

参加申し込みは、①ご氏名、②ご所属、③連絡先(メールアドレス)、④話題交換サロンへの出欠を明記の上、写真測量学会関西支部(jisprs-w@sokuryo.t.u-tokyo.ac.jp)まで電子メールでお願いたします。なお、準備の都合上、申込期限を2000年11月30日(木)までとさせていただきます。



摂南大学寝屋川学舎へは  
京阪本線「寝屋川市」駅から京阪バスに乗り(西3番乗り場)し約15分、「摂南大学」下車

\*京阪本線「寝屋川市」駅には、「急行」が停車します。

\*京阪バスは駅から15分間隔で運行しています。

当日の連絡及び問い合わせ先：摂南大学工学部土木工学科

熊谷樹一郎

電話:072-839-9122 FAX:072-838-6599

# 支部役員を中心した有志メンバーと空間情報ワーキンググループを結成し話題交換会を2000年から開始

平成12(2000)~13(2001)年度

	氏名	役職	勤務先
1	森 忠次	支部長	福山大学工学部 土木工学科
2	小林 和夫	副支部長	近畿測量専門学校
3	長谷川 照男	幹事長	アジア航測(株) 関西情報システム部長
4	藤本 隆弘	監事	(株)ジェクト 大阪計測技術部長
5	<u>稲葉 和雄</u>	幹事	国土地理院 近畿地方測量部長
6	西村 政洋	〃	国土交通省 近畿地方整備局 企画部企画課長
7	田中 義宏	〃	大阪府土木部事業管理室 参事
8	森 宣彦	〃	大阪工業大学 情報科学部情報処理科
9	石川 善朗	〃	京都府立大学 農学部森林科学科
10	吉村 充則	〃	〃
11	熊谷 樹一郎	〃	〃
12	木全 敬蔵	〃	〃
13	田口 栄一	〃	〃
14	<u>庄林 典秀</u>	会計	内外エンジニアリング(株)

きっかけは、電子地図の会終了  
藤堂さんと清水さんの訪問  
その時、熊谷さん、山下さんも同席

第1回話題交換会を2000年12月に開催

# 当初考えた空間情報WG・話題交換会の方向付け

空間情報の計測と利用を取り巻く技術に関連する話題の情報交換を図ることをWGの目的とする。**分野は広く、話題は深く**、をモットーにする。1回の話題提供者は、基本的にひとりとし、提供する話題からできる限り多くの情報交換が行えるような会とする。話題提供及び討論、情報交換を主な内容とする情報交換会開催をWGで主催する。

## 運営方法

コアメンバーを中心として話題提供者を決める。毎回の主担当を持ち回りとする。数回先までの会を仮決定しておく。会の頻度は、**2ヶ月に1度か、3ヶ月に1度か？**  
**定例会として定着**させていきたい。

## 12月8日第1回の準備

今回のみメールと郵送の2つでアピールする。秋学会会場で案内配布。GIS実習会参加者にメールで通知。できれば、自治体の方々を呼べないか？

次回から**すべてメールとWebで処理**していく。**毎回参加者リストをまとめ、メールアドレスをまとめ**ていき、**情報発信**に使う。

# 2000年度の支部活動

GIS実習会開催をきっかけに支部役員有志メンバーで構成する空間情報WGとして少しずつ実績づくりを展開

しかし、この頃すでに飲みながら決める文化が熟成されていた  
メンバーは、藤堂さん(国際航業)に川原さん(パスコ)、熊谷先生(摂南大学)に小林先生(近畿測量専門学校)と私

## 関西支部活動報告

平成12年6月23日(金)第20回関西支部総会、特別講演会・技術発表会を大阪府立労働センター(エルおおさか)において開催したので、その概要の報告、及びGIS実習会開催の案内をします。

### 1. 第20回総会

本年度は役員改選の年にあたり、下記のように支部長、副支部長、監事が総会で選任され、支部長から幹事以下幹事が委嘱された。任期は、それぞれ2年である。

支部長	森 忠次氏	福山大学工学部
副支部長	小林 和夫氏	近畿測量専門学校
幹事長	長谷川照男氏	アジア航測情報システム部
監事	倉田 晃氏	㈱ジェクト
幹事	前野 政克氏	国土地理院近畿地方測量部
〃	岩崎 福久氏	建設省近畿地方建設局
〃	林 茂三氏	大阪府土木部
〃	森 宣彦氏	大阪工業大学情報科学部
〃	石川 善朗氏	京都府立大学農学部
〃	吉村 充則氏	京都大学東南アジア研究センター
〃	熊谷樹一郎氏	摂南大学工学部
〃	木全 敬蔵氏	写測エンジニアリング㈱
〃	田口 栄一氏	朝日航洋㈱
会計	庄林 典秀氏	内外エンジニアリング㈱

### 2. 特別講演会

「1m解像度の新世界」IKONOS衛星が拓く新コンテンツビジネス  
日本スペースイメージング社 松下容一郎氏

京都大学の吉村先生のご紹介により、実現した講演であり、高分解能RS衛星画像の特徴から入手方法にいたるまで興味深く拝聴させていただいた。ただステレオ画像の入手が出来ないのが残念である。

### 3. 技術発表会

- 1) 「デジタル写真測量技術のGISへの応用」  
内外エンジニアリング㈱ 庄林 典秀氏
- 2) 「異なる手法により作成した地形図の結合」  
国際航業㈱ 政野 敦臣氏
- 3) 官民共同研究「地理情報標準の運用に関する研究」の現状と今後の予定  
㈱かんこう 清水 啓治氏

### 4. 懇親会

技術発表会終了後、別室にて懇親会をおこなった。和やかな雰囲気の中で会員同士の懇親を深めるとともに、今後の支部のあり方、支部活動の活発化等の意見交換を行った。

### 主題図作成のためのGIS実習会の案内

会場及び期日 近畿測量専門学校 8月21日～22日 2日間  
受講料 一般 10,000円 学生 5,000円  
連絡先 E-mail jsprs-w@sokuryo.t.u-tokyo.ac.jp  
FAX: 06-6487-1188 (国際航業㈱藤堂)



# 2001年度の支部活動

## 空間情報WGを構成する支部役員有志メンバーで少しずつ実績づくりを展開

しかし、この頃すでに飲みながら決める文化が熟成されていた。  
メンバーは、藤堂さん(国際航業)に川原さん(パスコ)、熊谷先生(摂南大学)に小林先生(近畿測量専門学校)と私

平成 12 年 8 月 21 日～ 22 日に「主題図作成のための GIS 実習会」(本誌 Vol.39, No.5, pp.53-54 に詳細)が開催され、その成果を受けて同年 10 月に「空間情報ワーキンググループ」を設立、同年 12 月 8 日から第 1 回話題交換会が開催され、活動が本格化しています。また、平成 13 年 3 月 21 日には、福山大学・服部進先生のご尽力により、Clive Fraser 先生をお迎えした「測量技術特別講演会」が京都大学で開催されました。平成 13 年 7 月 4 日には、平成 13 年度関西支部総会・講演会をエル・おおさかにおいて開催しましたので、その概要を報告します。

### (1) 空間情報ワーキンググループの設立と活動概況

空間情報ワーキンググループでは、産官学の垣根にとられない新たな活動を模索すべく、空間情報に関連する自由で関連な情報交換の場が提供できるよう活動を続けています。話題交換会は、基本的に偶数月の最終金曜日の夕方から継続的に開催されており、これまでに下記のような話題提供がありました。毎回 20 名～ 30 名の参加者があり、活発な情報交換が行われています。

#### ①第 1 回話題交換会(平成 12 年 12 月 8 日, 摂南大学)

「熱帯林の環境調査における空間情報計測と利用の試み」 京都大学東南アジア研究センター 吉村充則氏

#### ②第 2 回話題交換会(平成 13 年 1 月 12 日, エル・おおさか)

「環境調査における空間情報計測と利用の試み(2)」 京都大学東南アジア研究センター 吉村充則氏

#### ③第 3 回話題交換会(平成 13 年 4 月 20 日, エル・おおさか)

「地理情報と位置参照系」 株式会社 GIS 総合研究所 平田更一氏

#### ④第 4 回話題交換会(平成 13 年 6 月 29 日, エル・おおさか)

「LANDSAT 画像の偏位修正と SPOT ステレオ画像によるオルソ作成」 近畿測量専門学校教授 小林和夫氏

### (2) 「測量技術特別講演会」の開催(平成 13 年 3 月 21 日, 京都大学工学部 5 号館(土木総合館))

#### ①「海外の学会で知った変革事情の一端」 福山大学工学部教授 服部 進 氏

#### ②「写真測量産業におけるデジタル技術の発展によるインパクト」 Melbourne 大学教授 Clive Fraser 氏

当日は約 40 名の出席者があり、今後の写真測量におけるデジタル技術の動向について熱心に聴講されていました。

### (3) 平成 13 年度関西支部総会・講演会の開催(平成 13 年 7 月 4 日, エル・おおさか)

#### a) 総会

平成 12 年度事業報告, 平成 12 年度収支決算, 平成 13 年度事業計画案, 平成 13 年度収支予算案, 役員交代について審議の結果, 満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。

#### b) 特別講演会

「WebGIS の理論と最新の技術動向」 株式会社 滝野 秀一 氏

#### c) 技術講演会

①「WebGIS を利用した不動産査定サービス」 朝日航洋株式会社 篠田 順弘 氏

②「Web 対応型 GIS を用いた介護業務支援システム」 アジア航測株式会社 西村 芳夫 氏

③「ArcIMS3.1 のご紹介(本格的分散 GIS と Geographynetwork.com)」 株式会社 奥山 俊一 氏

④「GIS におけるリモートセンシングデータの利用例」 株式会社 斉藤 富夫 氏

滝野氏のご講演では、WebGIS の考え方を事例をふまえてわかりやすくご説明いただき、たいへん好評でした。新技術への関心は高く、特別講演会・技術講演会では約 50 名の出席者で会場が埋め尽くされました。



# 副支部長へ 2002年～

平成14(2002)～15(2003)年度

	氏名	役職	勤務先
1	<u>小林 和夫</u>	支部長	近畿測量専門学校
2	<u>吉村 充則</u>	副支部長	総合地球環境学研究所
3	西岡 本良	幹事長	(株)かんこう 営業本部
4	増川 眞澄	監事	写測エンジニアリング (株)
5	丸山 弘通	幹事	国土地理院 近畿地方測量部長
6	長谷川 朋弘	〃	国土交通省 近畿地方整備局 企画部企画課長
7	田中 義宏	〃	大阪府土木部事業管理室参事
8	宮原 健吾	〃	(財)京都市埋蔵文化財研究所
9	森 宣彦	〃	大阪工業大学 情報科学部情報メディア学科
10	石川 善朗	〃	京都府立大学 農学部森林科学科
11	中北 英一	〃	京都大学大学院 工学研究科環境地球工学専攻
12	熊谷 樹一郎	〃	摂南大学 工学部都市環境システム工学科
13	木全 敬蔵	〃	奈良大学
14	中桐 正夫	〃	朝日航洋(株) 空間情報部
15	庄林 典秀	会計	内外エンジニアリング (株)

## 話題交換会の運営方針

- 話題交換会と懇親会はセットで
- 勤務時間終了後(微妙?)に参加できるように
- 誰かを血祭りにあげて、本音を語ろう(飲みながら)
- 開催日を固定したほうが定着し易い
- 場所も固定したほうが定着し易い

## 関西支部活動報告

関西支部では、GIS 実習会、空間情報ワーキンググループ・話題交換会、地理情報標準講演会および支部総会・講演会などを開催してきましたので、その概要を報告します。

### (1) GIS実習会2001の開催

昨年度に引き続き、GIS 実習会を平成 13 年 8 月 9 日(木)・10 日(金)の二日間にわたって開催しました。会場の近畿測量専門学校では 33 名の参加があり、以下のようなスケジュールで実習を行いました。実際の GIS ソフトを使った教育・研修の機会として、参加者にたいへん好評でした。

8 月 9 日	講演「GIS の概要」	榎かんこう	清水啓治氏
	実習「国勢調査メッシュ統計を利用したジオデモグラフィクス		
	～地域の社会的特性の分析と応用～	立命館大学	中谷友樹氏
8 月 10 日	実習「三宅島 GIS データを使って」	榎プロジェクト	山田 豊氏
	実習「主題図の作成」	榎パスコ	松田智子氏

### (2) 空間情報ワーキンググループ・話題交換会

平成 12 年に設立された空間情報ワーキンググループ主催の話題交換会が、空間情報に関連する自由で関連な情報交換の場として、第 5 回から第 9 回まで開催されています。第 8 回話題交換会では、初の試みとして若手技術者・研究者の発表会を開催し、7 名の発表者に対して参加者全員が審査した結果に基づいて、3 名に優秀発表賞が授与されました。

#### ①第 5 回話題交換会(平成 13 年 8 月 31 日, エル・おおさか)

「分布の複雑さを見る～広域での調査・分析を事例として～」 摂南大学 熊谷樹一郎氏

#### ②第 6 回話題交換会(平成 13 年 10 月 26 日, エル・おおさか)

「もう一度『はかる』をテーマに～レーザー計測を例として～」 国際航業榎 藤堂正裕氏

#### ③第 7 回話題交換会(平成 13 年 12 月 7 日, 京都テルサ)

「高分解能衛星 QuickBird 画像データサービスと応用分野について」  
日立ソフトウェアエンジニアリング榎 谷口吉彦氏

#### ④第 8 回話題交換会(平成 14 年 1 月 18 日, エル・おおさか)

##### 「若手技術者・研究者による技術研究発表会」

「円形ターゲットの高精度自動計測」	福田大輔氏(京都大学工学部)
「地球温暖化防止のための植物による熱緩和の検証」	荒野貴光氏(大阪工業大学大学院)
「GIS を利用した空間復元について」	高瀬啓司氏(奈良大学大学院)
優秀発表賞「GIS に対応したベクトル地形図」	渡邊哲也氏(国土地理院近畿地方測量部)
優秀発表賞「土地被覆分布に着目した空間分析」	卜部裕満氏(摂南大学大学院)
優秀発表賞「衛星データに見られる山岳地域における地形効果に関する研究」	長瀬 興氏(京都府立大学大学院)
「アフィン幾何学に基づくデジタル写真測量による精密工業計測」	稲垣徳馬氏(京都大学工学部)

#### ⑤第 9 回話題交換会(平成 14 年 4 月 26 日, エル・おおさか)

「航空レーザーによる計測事例と今後の展開」 朝日航洋榎 山本貴春氏

# 2002年度の支部活動

### (3) 地理情報標準講演会「国際標準と地理情報標準第2版」の開催(平成 14 年 5 月 30 日)

上記の講演会が、ばるるプラザ京都において開催され、総勢約 200 名の参加で盛会のうちに終わることができました。詳細は本誌別ページをご覧ください。

### (4) 平成14年度関西支部総会・講演会の開催(平成 13 年 7 月 4 日, エル・おおさか)

#### a) 総会

平成 13 年度事業報告, 平成 13 年度収支決算, 平成 14 年度事業計画案, 平成 14 年度収支予算案, 役員の交代について審議の結果, 満場一致で承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成 14 年度・平成 15 年度の役員は以下のとおりです。

支部長	小林 和夫	近畿測量専門学校	幹事	森 宣彦	大阪工業大学
副支部長	吉村 充則	総合地球環境学研究所	幹事	石川 善朗	京都府立大学
幹事長	西岡 本良	榎かんこう	幹事	中北 英一	京都大学大学院
監事	増川 眞澄	榎写測エンジニアリング	幹事	木全 敬哉	奈良大学
幹事	丸山 弘通	国土地理院近畿地方測量部	幹事	中桐 正夫	朝日航洋榎
幹事	長谷川朋弘	国土交通省近畿地方整備局	会計	庄林 典秀	内外エンジニアリング榎
幹事	田中 義宏	大阪府土木部事業管理室	幹事*	熊谷樹一郎	摂南大学
幹事	宮原 健吾	(財)京都市埋蔵文化財研究所	※*は事務局担当を示す。		

#### b) 講演会

総会後の講演会では「『空間情報の計測と利用』を考える～利用・生成・教育の面から～」といったテーマの下で、次のような 5 件の講演がありました。

##### ①特別講演

「景観デザイン分野における空間情報の活用」 大阪工業大学 吉川 眞氏

##### ②一般講演

「空間情報の現状・今後」 内外エンジニアリング榎 木村 雅俊氏

「空間データの品質評価法」 榎かんこう 清水 啓治氏

「測量教育の抱える課題」 近畿測量専門学校 小林 和夫氏

「次代を担う測量技術者養成とは」 摂南大学 熊谷樹一郎氏

吉川氏のご講演では、空間情報の利用といった視点から CAD・CG・GIS を融合的に活用された事例をご紹介いただき、たいへん好評でした。講演会終了後に開催した懇親会では、永年にわたって支部長を務められた森忠次先生に、感謝の意を込めて花束の贈呈を行いました。

## 活性化を増す支部活動

この頃から「情報発信を関西から」が活動指針に

# 2003年度の支部活動

関西支部では、空間情報ワーキンググループ・話題交換会、学術講演会でのパネルディスカッションおよび支部総会・講演会などを実施・開催してきましたので、その概要を報告します。

## (1) 空間情報ワーキンググループ・話題交換会

空間情報に関連する自由で関連な情報交換の場として、平成 12 年から始まった空間情報ワーキンググループ主催の話題交換会が第 10 回から第 15 回まで継続して開催されています。

### ①第 10 回話題交換会（平成 14 年 7 月 12 日、エル・おおさか）

「1/10 ピクセル以内の高精度画像計測のための画像処理」 京都大学 小野 徹 氏

### ②第 11 回話題交換会（平成 14 年 8 月 30 日、エル・おおさか）

「測地成果 2000 対応について」 豊中市 柳川 重信 氏

### ③第 12 回話題交換会（平成 14 年 10 月 25 日、京都デジタルアーカイブ研究センター）

「真の意味で中心のない GIS : GLOBALBASE」 国際日本文化研究センター 森 洋久 氏

### ④第 13 回話題交換会（平成 14 年 12 月 13 日、摂南大学）

「熱帯林林冠木における光合成活動に関連した環境パラメータ計測」  
科学技術振興事業団 山下 恵 氏

### ⑤第 14 回話題交換会（平成 15 年 2 月 28 日、エル・おおさか）

「歴史環境 GIS の構築をめざして ～元禄空間の復元～」 大阪工業大学 吉川 眞 氏

「電子国土 WEB システムについて」 国土地理院近畿地方測量部 丸山 弘通 氏

### ⑥第 15 回話題交換会（平成 15 年 4 月 25 日、エル・おおさか）

「航空レーザー測量の特徴と市場創出の可能性」 朝日航洋㈱ 津留 宏介 氏

## (2) パネルディスカッション「空間情報を作る側と使う側の接点」の開催（平成 14 年 11 月 15 日）

2ヶ月に一度の割合で開催してきた話題交換会では、空間情報をキーワードとしたさまざまな分野の技術者・研究者が集い、さまざまな情報や意見を交換する場としてようやく根つきつつあります。さらに、平成 14 年 5 月 30 日には空間情報ワーキンググループが中心となって支部行事「地理情報標準講演会『国際標準と地理情報標準第 2 版』」を企画し、多様な立場から空間情報とは何かを考える機会を得ました（本誌 Vol.41, No.4 に詳細）。

このような状況から、大阪での開催となった平成 14 年度秋季学術講演会は、関西支部が培ってきた空間情報をめぐる諸活動について広く知ってもらうよい機会であるとともに、さらに多くの方々に議論に参加していただく機会でもあると考え、パネルディスカッション「空間情報を作る側と使う側の接点」を地理情報システム学会関西地方事務局と合同で企画いたしました。パネルディスカッションは平成 14 年度秋季学術講演会の二日目に開催されています。参加いただいたパネラーの方々と講演題名は以下のとおりです。

「空間情報を作る立場から」 内外エンジニアリング㈱ 木村 雅俊 氏

「空間情報を生かすベンダーとしての立場から」 ㈱ドーン 岡本 茂明 氏

「自治体での利用における立場から」 豊中市 柳川 重信 氏

「研究・開発、エンドユーザの立場から」 大阪工業大学 吉川 眞 氏

なお、本パネルディスカッションの内容・発表資料については、パネラーの方々にご了解いただき、関西支部ホームページ (<http://www.jsprs-w.org/>) で公開しております。

## (3) 平成15年度関西支部総会・講演会の開催（平成 15 年 6 月 27 日、エル・おおさか）

### ①総会

平成 14 年度事業報告、平成 14 年度収支決算、平成 15 年度事業計画案、平成 15 年度収支予算案、役員交代について審議の結果、満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。

### ②講演会（拡大版話題交換会）

総会後の講演会は、定例の話題交換会と日程が重なったことから「拡大版話題交換会(第16回)」として開催されました。テーマとして「空間情報の計測」を取り上げ、次のような3件の講演をいただきました。

「TLS (Three Line Scanner) による計測」 国際航業㈱ 藤堂 正裕 氏

「航空機リモートセンシングの現状」 中日本航空㈱ 宮坂 聡 氏

「空間情報計測の研究領域とは？」 総合地球環境学研究所 吉村 充則 氏

藤堂氏のご講演では、最新の計測技術をご紹介いただくとともに、取得データの特徴・応用可能性などをご説明いただきました。また、宮坂氏のご講演では、レーザスキャナーやマルチスペクトルスキャナ、ハイパースペクトルイメージャーなど多種多様なセンサが搭載できる航空機の特徴をご紹介いただき、計測事例と併せてご講演いただきました。お二人のご講演は示唆に富んだものであり、参加者に大変好評でした。吉村氏のご講演では、空間情報計測の研究領域で活動する研究者の位置づけをわかりやすく説明いただくとともに、学際領域ならではの研究アプローチの重要性についてご講演いただきました。空間情報に関係する方々には非常に興味深い視点からの講演内容であったようで、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 話題交換会以外の企画も続々と実施



# 平成16(2004)年から役員も入れ替わり 話題交換会は支部の主要行事へ さらに役員を担当を明文化

平成16(2004)～17(2005)年度

	氏名	役職	担当	勤務先
1	小林 和夫	支部長	-	近畿測量専門学校
2	吉村 充則	副支部長	-	総合地球環境学研究所
3	西岡 本良	幹事長	-	(株)かんこう 営業本部
4	増川 眞澄	監事	-	(社)日本測量協会 測量技術センター
5	木下 章	幹事	自治体・官庁	国土地理院 近畿地方測量部長
6	<u>柳川 重信</u>	〃	自治体・官庁	豊中市 総務部法定外公共物プロジェクトチーム
7	<u>清水 啓治</u>	〃	連携	(株)かんこう GIS企画担当部長
8	宮原 健吾	〃	遺跡	(財)京都市埋蔵文化財研究所
9	中北 英一	〃	応用	京都大学大学院 工学研究科都市環境工学専攻
10	木全 敬蔵	〃	歴史	奈良大学
11	<u>越智 士郎</u>	〃	教育	近畿大学 農学部国際資源管理学科
12	<u>山下 恵</u>	〃	新技術	近畿測量専門学校
13	熊谷 樹一郎	〃	事務局	摂南大学 工学部都市環境システム工学科
14	庄林 典秀	〃	会計	内外エンジニアリング(株)

# 話題交換会の位置づけも変化

有志メンバーによる空間情報WGから支部主要行事へ  
旧支部ホームページより

関西支部においては、これまで春に講演会を開催するなどの活動を行ってまいりました。**2000年夏**にはこれに加えて**支部では初めてGIS実習会**を開催し、**空間情報に関する普及啓蒙活動**を始めました。参加者の皆様からの評判も上々で、新たな流れを感じざるを得ません。このような状況から、支部では、産官学の垣根にとられない新たな活動を模索すべく、**2000年11月にワーキンググループを結成**し、空間情報に関連するより多くの皆様の意見を取り入れ、まったく新たなワーキンググループとして支部活動の一躍を担いながら運営してまいりました。

**2004年4月から**は、これまでの空間情報ワーキンググループを発展的に解消し、**主要な支部活動**として位置づけることとしました。

このような経緯から、「空間情報の計測と利用」に興味を持つ皆様に、各**偶数月の最終金曜日夕方**にお集まりいただき、お一人ないしお二人から空間情報に関連した話題を提供いただく「**空間情報話題交換会**」を開催しています。



# 2004年度の支部活動

関西支部では、空間情報話題交換会、GIS体験セミナー、関西地域GIS自治体意見交流会、リモートセンシング講習会および支部総会・講演会などを開催してきましたので、その概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、産官学の垣根にとらわれない新たな活動を模索すべく、2000年11月に空間情報ワーキンググループを結成し、空間情報に関連する技術者・研究者の意見を取り入れ、まったく新たなワーキンググループとして支部活動の一翼を担いながら話題交換会を運営してきました。2004年4月からは、これまでの空間情報ワーキンググループを発展的に解消し、話題交換会を主要な支部活動として位置づけることとしました。昨年度からこれまでに開催してきた話題交換会の内容は以下のとおりです。

### ①第17回話題交換会（2003年8月29日、エル・おおさか）

「地上型レーザースキャナーの応用事例と動向」 リーグルジャパン(株) 松田 重雄 氏

### ②第18回話題交換会（2003年12月5日、エル・おおさか）

「次世代のデジタル写真測量技術の展望～画像計測技術は人間の視覚を超越できるか～」  
京都大学 小野 徹 氏

### ③第19回話題交換会（2004年2月27日、エル・おおさか）

「既存GISデータを用いたインターネットにおける3次元表現」 ㈱システム・ケイ 福田 潤 氏

### ④第20回話題交換会（2004年4月23日、エル・おおさか）

「写真測量と三次元計測の最前線」 ㈱三次元メディア 佐藤 淳一 氏

## (2) GIS体験セミナーの開催（2003年10月20日、立命館大学）

空間情報に関する最新動向を把握する同時に、PCなどに触れながらGISそのものを体験する機会として、GIS体験セミナーを開催しました。以下のように、座学での情報収集とPCでの実習を一体化した内容で実施しています。参加者は26名でした。なお、このセミナーには立命館大学文学部地理学教室とESRIジャパン(株)のご後援をいただいています。

①講演「空間情報とGIS」 総合地球環境学研究所 吉村 充則 氏

②ArcGIS体験講座（PCを用いた実習形式）

## (3) 第5回関西地域GIS自治体意見交流会（2003年12月18日、兵庫県農業共済会館）

GIS学会関西地方事務局との共催行事として、関西地域GIS自治体意見交流会を開催しました。当日は総勢135名の参加者があり、たいへん盛況でした。主な講演内容は以下のとおりです。

「官民共同によるGISデータ整備について」 大阪府土木部 西端 薫 氏  
 「高槻市のベースマップ更新手法について」 高槻市建設部 原本 節男 氏  
 「高槻市における3次元都市モデリング」 大阪工業大学大学院 山野 高志 氏  
 「モバイル通信技術とWebGISを活用した道路防災情報システム」 兵庫県県土整備部 北川 新也 氏  
 「宝塚市におけるGISへの最近の取り組みについて」 宝塚市土木部 小川 清次 氏

パネルディスカッション「空間データの整備とGISの利活用」

コーディネータ：大阪工業大学 吉川 眞 氏

パネラー：西端 薫 氏（前掲） 山野 高志 氏（前掲） 小川 清次 氏（前掲）

原本 節男 氏（前掲） 北川 新也 氏（前掲）

## (4) リモートセンシング講習会の開催（2004年5月28日、エル・おおさか）

上記の講習会がエル・おおさかにおいて開催され、総勢約57名の参加者で盛会のうちに終えることができました。詳細は本誌別ページをご覧ください。

## (5) 平成16年度関西支部総会・講演会の開催（2004年6月25日、エル・おおさか）

### a) 総会

平成15年度事業報告、平成15年度収支決算、平成16年度事業計画案、平成16年度収支予算案、役員の交代について審議の結果、満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成16年度・平成17年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	小林 和夫	近畿測量専門学校	幹 事	中北 英一	京都大学大学院
副支部長	吉村 充則	総合地球環境学研究所	幹 事	木全 敬蔵	奈良大学
幹 事 長	西岡 本良	㈱かんこう	幹 事	越智 士郎	近畿大学
監 事	増川 眞澄	写測エンジニアリング(株)	幹 事	山下 恵	近畿測量専門学校
幹 事	木下 章	国土地理院近畿地方測量部	幹 事	庄林 典秀	内外エンジニアリング(株)
幹 事	柳川 重信	豊中市	幹 事	** 熊谷樹一郎	摂南大学
幹 事	清水 啓治	㈱かんこう			
幹 事	宮原 健吾	(財)京都市埋蔵文化財研究所			

※\*は会計担当を、\*\*は事務局担当を示す。

### b) 講演会

総会後の講演会は、テーマを「3次元データの計測と応用」とした上で、次の3件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第21回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「レーザー計測を利用した都市と文化遺産のビジュアライゼーション」

㈱キャドセンター デジタルアーカイブ・ラボ 所長  
 (立命館大学 COE 推進機構 教授)  
 高瀬 裕 氏

「空間データを活用した都市景観シミュレーション～データ・インテグレーションからフュージョンへ～」

大阪工業大学大学院 山野 高志 氏  
 大阪工業大学 教授 吉川 眞 氏

「レーザー計測による熱帯林バーチャルフォレスト構築と光環境解析」

総合地球環境学研究所 助教授 吉村 充則 氏  
 近畿測量専門学校 山下 恵 氏

高瀬氏のご講演では、3次元データの応用について、さまざまな分野での具体例を多くご紹介いただくとともに、バーチャルリアリティを用いた最新の技術動向をお話いただき、たいへん好評でした。また、山野氏・吉川氏のご発表では、LiDARデータや高空間分解能衛星データ、CADデータを景観分野において融合的に利用する事例が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。吉村氏・山下氏のご講演では、これまでの研究の内容を中心に、熱帯林を対象とした観測に対して3次元データの計測技術がどのような貢献をしていき、新たな展開にどう寄与してきたのかをご講演いただきました。今後の空間情報の応用面で大いに参考となるお話をいただきました。

関西支部では、空間情報話題交換会、関西地域 GIS 自治体意見交流会、支部総会・講演会などを開催してきましたので、その概要を報告します。

(1) 空間情報話題交換会

2000年11月より産官学の垣根にとらわれない新たな活動を模索すべく開催してきた話題交換会は、2004年4月から主要な支部活動として位置づけられ、ニヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催されています。昨年度からこれまでに開催されてきた話題交換会の内容は以下のとおりです。第25回話題交換会では、若手による技術研究発表会が開催され、参加者全員が審査した結果に基づき8名の発表者に対して2名が優秀発表者として選出されました。

①第22回話題交換会 (2004年8月27日, エル・おおさか)

「空間情報に関わる最新の技術動向～第20回 ISPRS Congress から～」 国際航業(株) 瀬戸島 政博 氏

②第23回話題交換会 (2004年10月22日, エル・おおさか)

「農業と環境モニタリング」 近畿大学 越智 士郎 氏

③第24回話題交換会 (2004年12月10日, エル・おおさか)

「解析写真測量のトレンドとデジタルステレオ図化機  
～図化名人とその周辺技術～」 アジア航測(株) 織田 和夫 氏

④第25回話題交換会 (2005年2月17日, 大阪工科大学摂南大学学園創立60周年記念館)

「若手による技術研究発表会」  
「統合型 GIS データの効率的な整備並びに運用に関する研究  
ー地理情報標準に準拠した製品仕様書(案)の作成事例ー」  
内外エンジニアリング㈱ 和田 映一郎 氏

「大気環境の分析と景観シミュレーション」 大阪工業大学 工学研究科 高田 賢 氏

「中小規模の緑地の分布状態を対象とした広域分析に関する研究」  
摂南大学 工学研究科 石澤 秀和 氏

「空間データを用いた河川景観の分析」 大阪工業大学 工学研究科 坂口 敬 氏  
「不等式制約条件を用いた等深線図の DEM 化についてー琵琶湖西岸小松-木戸水域の例ー」  
大阪工業大学 情報科学部 井谷 直行 氏

「古都・奈良における景観構造の分析」 大阪工業大学 工学研究科 植田 克泰 氏

優秀発表者「建物密集度の広域分析を対象とした空間情報の複合的利用方法」  
摂南大学 工学研究科 川勝 雄介 氏

優秀発表者「『なにわ』の変遷景観と位置参照点の整備」大阪工業大学 工学研究科 田ノ畑 聡史 氏

⑤第26回話題交換会 (2005年4月22日, エル・おおさか)

「ステレオ処理特許技術による技術革命」 NEC システムテクノロジー(株) 國枝 和雄 氏

(2) 第6回関西地域 GIS 自治体意見交流会 (2004年12月16日, 大阪工科大学摂南大学学園創立60周年記念館)

GIS 学会関西地方事務局との共催行事として、関西地域 GIS 自治体意見交流会を開催しました。当日は総勢102名の参加者があり、たいへん盛況でした。主な講演内容は以下のとおりです。

「空間データ基盤の整備と GIS の利活用」 奈良大学 碓井 照子 氏

「豊中市における空間データの整備と GIS の利活用について」 豊中市 柳川 重信 氏

「羽曳野市における GIS 構築について」 羽曳野市 中西 敬一 氏

# 2005年度の支部活動

「大阪府位置参照点システムの活用について」 箕面市 中井 安彦 氏

「都市環境を対象とした地理情報の有効利用に関する一考察」 摂南大学 熊谷 樹一郎 氏

パネルディスカッション 「自治体 GIS の過去・現在・未来」  
コーディネータ：碓井 照子 氏 (前掲)

パネラ：柳川 重信 氏 (前掲) 中井 安彦 氏 (前掲)

中西 敬一 氏 (前掲) 熊谷 樹一郎 氏 (前掲)

(3) 平成17年度関西支部総会・講演会の開催 (2005年6月10日, エル・おおさか)

a) 総会

平成16年度事業報告, 平成16年度収支決算, 平成17年度事業計画案, 平成17年度収支予算案, 役員交代について審議の結果, 満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成17年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	小林 和夫	近畿測量専門学校	幹 事	小野 徹	京都大学大学院
副支部長	吉村 充則	総合地球環境学研究所	幹 事	田中 一成	大阪工業大学
幹 事 長	西岡 本良	㈱かんこう	幹 事	越智 士郎	近畿大学
監 事	増川 眞澄	(社)日本測量協会	幹 事	山下 恵	近畿測量専門学校
幹 事	木下 章	国土地理院近畿地方測量部	幹 事*	庄林 典秀	内外エンジニアリング㈱
幹 事	梶川 正純	大阪府	幹 事**	熊谷樹一郎	摂南大学
幹 事	柳川 重信	豊中市			
幹 事	清水 啓治	㈱かんこう			

※\*は会計担当を, \*\*は事務局担当を示す。

b) 講演会

総会後の講演会では、テーマを「地球環境問題とリモートセンシング」とした上で、次の2件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第27回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「リモートセンシングの活用による炭素吸収源としての森林生態系評価の事例紹介」  
国立環境研究所 小熊 宏之 氏  
株式会社パスコ 米 康充 氏  
国立環境研究所 中路 達郎 氏  
国立環境研究所 武田 知己 氏

「雲の効果を考慮した日射推定のための時系列全天画像撮影システムとその画像解析」  
近畿測量専門学校 山下 恵 氏  
総合地球環境学研究所 吉村 充則 氏

小熊氏のご講演では、森林を対象とした航空写真でのステレオ解析や LiDAR によるデータ取得などについてご紹介いただくとともに、得られた精度やその有効範囲を紹介いただくなど、さまざま事例を明快にお話しいただき、大変好評でした。また、山下氏のご講演は、地上から空を見るスタンスでの研究内容であり、非常に興味深い内容をご紹介いただきました。49名の参加者は、講演中にメモを取るなど、熱心に耳を傾けていました。

## 疲れてきたか？



# 2006年度の支部活動

関西支部では、空間情報話題交換会、測量技術者・研究者スキルアップ講演会、支部総会・講演会などを開催してきましたので、その概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催されてきた空間情報話題交換会は、昨年度でその開始から5周年を迎えました。昨年度からこれまでの内容は以下のとおりです。

### ①第28回空間情報話題交換会(2005年8月26日, エル・おおさか)

「古くて新しい技術フォトセオドライトの可能性 ～ 写真測量は空から地上へ舞い戻るか ～」

京都大学大学院 小野 徹 氏

### ②第29回空間情報話題交換会(2005年10月21日, エル・おおさか)

「地理情報標準にもとづく空間データ・モデリング」

IBM ビジネスコンサルティングサービス(株) 村尾 吉章 氏

### ③第30回空間情報話題交換会(2005年12月9日, エル・おおさか)

「移動体からのレーザスキャナーによる応用計測例」

(有)デベロ 富井 隆春 氏

### ④第31回空間情報話題交換会(2006年2月23日, エル・おおさか)

「時間性理論による空間解読とGIS」

大阪工業大学 田中 一成 氏

### ⑤第32回話題交換会(2006年4月28日, エル・おおさか)

「スリーラインセンサ画像を使った高精細都市データの構築・更新」

(独)産業技術総合研究所 中川 雅史 氏

## (2) 測量技術者・研究者スキルアップのための講演会～現状と将来～(2005年11月4日, エル・おおさか)

日本測量協会関西支部のご後援の下、「測量技術者・研究者スキルアップのための講演会～現状と将来～」を開催しました。日本測量協会が中心となって展開している「測量CPD(継続教育)制度」とその位置づけを知り、測量技術者・研究者、さらには当支部の活動のあり方を考える貴重な機会となりました。詳しくは本誌Vol.45, No.2, pp.52-54をご参照ください。

## (3) 平成18年度関西支部総会・講演会の開催(2006年6月9日, エル・おおさか)

### a) 総会

平成17年度事業報告, 平成17年度収支決算, 平成18年度事業計画案, 平成18年度収支予算案, 役員の変更について審議の結果, 満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成18年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	小林 和夫	元近畿測量専門学校	幹 事	清水 啓治	㈱かんこう
副支部長	吉村 充則	総合地球環境学研究所	幹 事	小野 徹	(有)画像計測研究所
幹 事 長	越智 士郎	近畿大学	幹 事	田中 一成	大阪工業大学
監 事	増川 真澄	(社)日本測量協会	幹 事	山下 恵	近畿測量専門学校
幹 事	木下 章	国土地理院近畿地方測量部	幹 事*	熊谷樹一郎	摂南大学
幹 事	梶川 正純	大阪府			
幹 事	柳川 重信	豊中市			

※\*は会計/事務局担当を示す。

## b) 講演会

総会後の講演会では、次の2件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第33回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「衛星センサによる沿岸域環境のモニタリング」

京都大学大学院 教授 田村 正行 氏

「電子国土 Web システムについて」

国土地理院 情報普及課長 河瀬 和重 氏

田村氏のご講演では、マングローブ林を対象としたマルチスペクトルでの解析の考え方や衛星データの適用例などについてご紹介いただくとともに、サンゴ礁のモニタリングなどの応用事例を明快にお話しいただき、学生の参加者などは熱心にメモをとっていました。また、河瀬氏のご講演では、着々と進化を遂げる電子国土 Web システムの現状から今後の展開までご説明いただきました。国土地理院だけでなく、他の機関からの地図情報を含む貴重な地理情報が電子国土 Web システムを通じて利用されている事例なども紹介いただき、大変好評でした。

## 活動は停滞期へ

# 2007年度 の支部活動

パネルディスカッション 「自治体 GIS の分岐点」

コーディネータ：柳川 重信 氏 (豊中市)

パネフ：山本 利夫 氏 (前掲) 原田 智 氏 (前掲)

森川 大輔 氏 (京都府) 仁尾 克己 氏 (前掲)

森山 幸雄 氏 (前掲) 中西 裕樹 氏 (前掲)

関西支部では、空間情報話題交換会、GRASS 講習会、MultiSpec 講習会、支部総会・講演会などを開催してきましたので、その概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催される空間情報話題交換会では、昨年度からこれまでに以下のような話題提供がありました。

### ①第 34 回空間情報話題交換会 (2006 年 8 月 25 日, エル・おおさか)

「ネットワーク型 RTK の紹介と独自セミ・ダイナミック配信の特長と利用事例」

(株)ジェノバ 木元 昭則 氏

### ②第 35 回空間情報話題交換会 (2006 年 10 月 27 日, エル・おおさか)

「高精度 GPS (FKP 方式) を利用した移動体簡易水準測量および精密 3 次元地形モデルの取得・表示システム」

三菱電機(株) 西川 啓一 氏

### ③第 36 回空間情報話題交換会 (2006 年 12 月 8 日, エル・おおさか)

「文化遺産アーカイブとモニタリングでの写真測量の実践-タイ・マハタート寺院の事例-」

同志社大学 津村 宏臣 氏

### ④第 37 回空間情報話題交換会 (2007 年 2 月 23 日, エル・おおさか)

「衛星生態研究における落葉前後の ASTER データの利用事例紹介」 京都大学大学院 牧 雅康 氏

### ⑤第 38 回空間情報話題交換会 (2007 年 4 月 27 日, エル・おおさか)

「アフリカの抱える環境問題 -ザンビアにおける干ばつと貧困-」

地球研プロジェクト「社会・生態システムの脆弱性とレジリエンス」から

総合地球環境学研究所 吉村 充則 氏

### ⑥第 40 回空間情報話題交換会 (2007 年 8 月 31 日, エル・おおさか)

「新たな GIS 推進施策と写真測量技術への期待」国土交通省国土地理院 近畿地方測量部 佐々木 久和 氏

### ⑦第 41 回空間情報話題交換会 (2007 年 10 月 28 日, エル・おおさか)

「統計 GIS の発展に向けて ~カルトグラムの可能性を探る」

東京大学大学院 清水 英範 氏

## 新たな支部長の下 再起を図る

## (2) 講習会「GIS フリーソフト GRASS を体験しよう」(2006 年 7 月 31 日, 近畿測量専門学校)

フリーのソフトウェアでありながら、多数の強力な機能を持ち合わせている GIS ソフト「GRASS」を対象とした講習会を実施しました。本講習会では、講師の小野徹氏 ((有)画像計測研究所) が作成された体験版のブート CD を利用し、UNIX 系の OS の予備知識が無くても簡単な取り組める環境を実現した上で、PC を利用した実習形式の講習を実施しました。参加者総数は 27 名でした。

## (3) 第 7 回関西地域 GIS 自治体意見交流会 (2007 年 3 月 29 日, 高槻市現代劇場文化ホール)

高槻市, GIS 学会関西地方事務局との共催行事として、関西地域 GIS 自治体意見交流会を開催しました。当日は総勢 114 名の参加者があり、大変盛況でした。講演内容は以下のとおりです。

「広域統合型地理情報システムについて」

野洲市 山本 利夫 氏

「府・市町村共同による統合型 GIS の取組について」

京都府 原田 智 氏

「尼崎市の次の展開について」

尼崎市 仁尾 克己 氏

「豊中市の基本図データベース更新と庁内活用について」

豊中市 森山 幸雄 氏

「高槻市におけるデジタルミュージアム~城と城下をゆく~」

高槻市立しろあと歴史館 中西 裕樹 氏

## (4) 平成 19 年度関西支部総会・講演会の開催 (2007 年 6 月 1 日, エル・おおさか)

### a) 総会

平成 18 年度事業報告, 平成 18 年度収支決算, 平成 19 年度事業計画案, 平成 19 年度収支予算案, 役員の交代・追加, 職務の交代について審議の結果, 満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成 19 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長 柳川 重信 豊中市

副支部長 吉村 充則 総合地球環境学研究所

幹 事 長 越智 士郎 近畿大学

監 事 増川 眞澄 (社)日本測量協会

幹 事 佐々木久和 国土地理院近畿地方測量部

幹 事 梶川 正純 大阪府

幹 事 清水 啓治 (株)かんこう

幹 事 小野 徹 (有)画像計測研究所

幹 事 村尾 吉章 日本アイ・ピー・エム(株)

幹 事 嶋野 雄一 国際航業(株)

幹 事 金本 直也 (株)パスコ

幹 事 安井 嘉文 (株)GIS 関西

幹 事 田中 一成 大阪工業大学

幹 事 山下 恵 近畿測量専門学校

幹 事 須崎 純一 京都大学大学院

幹 事\* 熊谷樹一郎 摂南大学

※\*は会計/事務局担当を示す。

### b) 講演会

総会後の講演会では、次の 4 件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第 39 回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「地理空間情報等活用推進基本法における地理情報標準の役割」 国際航業(株) 政木 英一 氏

「地理空間情報活用推進基本法案の自治体 GIS へのインパクト」 (株)パスコ 坂下 裕明 氏

「GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会の取組について」 大阪府 梶川 正純 氏

「大縮尺地形図の官民共有とその応用について」 大阪ガス(株) 山内 徹 氏

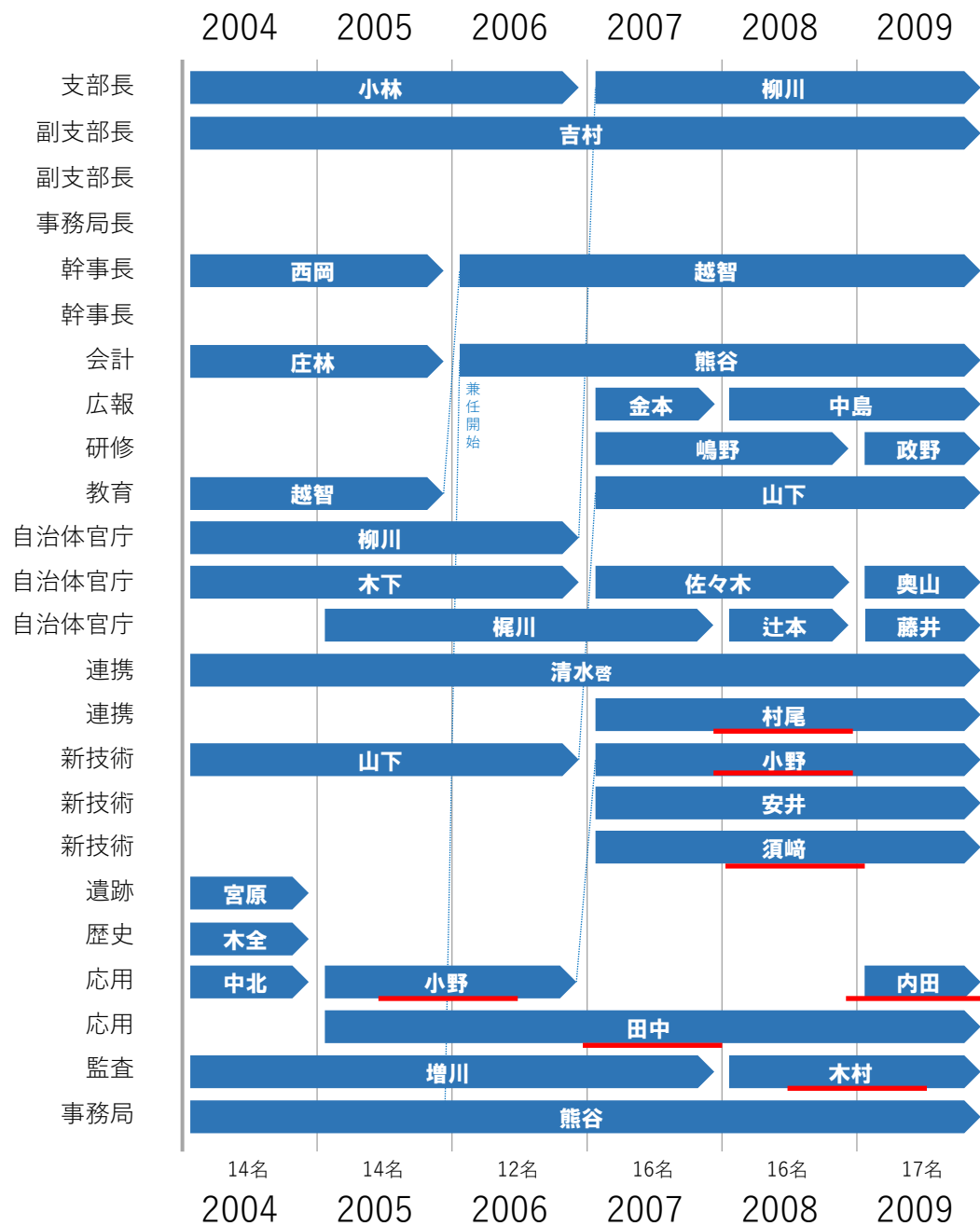
前半 2 件のご講演では、前々日の 5 月 30 日に公布されたばかりの地理空間情報活用推進基本法に関わる内容をご紹介いただきました。ホットな話題ということもあって、116 名の参加者は熱心にメモを取るなど聞き入っていました。また、後半 2 件のご講演では、大阪府を中心として活動してきた GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会に関する内容をご紹介いただきました。2002 年に発足してからの動きや、これからの活動内容について多面的に紹介いただき、大変好評でした。

## (5) 講習会「われわれの住む地表空間をマネージするためのリモートセンシング画像の解析とその応用 ~MultiSpec を用いたハンズオンワークショップ~」(2007 年 6 月 28 日, 近畿測量専門学校)

地理情報システム学会, 日本リモートセンシング学会, 日本国際地図学会, 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム, 日本ヒートアイランド学会のご後援の下, 講師に飯坂譲二先生 (ビクトリア大学地理学教授) をお迎えし, MultiSpec を用いた実習形式の講習会を開催しました。参加者総数は 48 名と大変盛況でした。

なお、以上の活動内容につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載中です。また、今後の活動内容につきましても随時更新していく予定です。

# 日本写真測量学会関西支部 役員の変遷（2004～2009）



14名 14名 12名 16名 16名 17名

2004 2005 2006 2007 2008 2009



# 2008年度 の支部活動

関西支部では、空間情報話題交換会、技術発表会、支部総会・講演会などを開催してきましたので、平成20年度の概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催される空間情報話題交換会では、平成20年度に以下のような話題提供がありました。

### ①第44回空間情報話題交換会（2008年4月25日、常翔学園・大阪センター）

「大阪における建設 CALS の取り組み」 大阪府都市整備部事業管理室 辻本俊洋 氏

### ②第46回空間情報話題交換会（2008年8月29日、常翔学園・大阪センター）

「三次元のすすめ 一図化名人から Web Photogrammetry まで」 アジア航測株式会社 土居原 健 氏  
「ISPRS 北京大会の報告」 リモート・センシング技術センター 吉村 充則 氏

### ③第47回空間情報話題交換会（2008年10月31日、常翔学園・大阪センター）

「携帯電話を利用した街情報袖手システム」 情報通信研究機構 門林 理恵子 氏

### ④第48回空間情報話題交換会（2008年12月12日、常翔学園・大阪センター）

「多偏波マイクロ波リモートセンシングの実利用の可能性」 および  
「伝統的建造物保存地区での地上 LiDAR 計測とモデル化」 京都大学大学院 須崎 純一 氏

## (2) 平成20年度関西支部総会・特別講演会（2008年6月13日、常翔学園・大阪センター）

### a) 総会

平成19年度事業報告、平成19年度収支決算、平成20年度事業計画案、平成20年度収支予算案、役員交代について審議の結果、満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。平成20年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	柳川 重信 (株)GIS 関西	幹 事	嶋野 雄一 国際航業(株)
副支部長	吉村 充則 リモート・センシング技術センター	幹 事	中島 直紀 (株) パスコ
幹 事 長	越智 士郎 近畿大学	幹 事	安井 嘉文 (株)GIS 関西
監 事	木村 雅俊 大洋エンジニアリング(株)	幹 事	田中 一成 大阪工業大学
幹 事	佐々木久和 国土地理院近畿地方測量部	幹 事	山下 恵 近畿測量専門学校
幹 事	辻本 俊洋 大阪府	幹 事	須崎 純一 京都大学大学院
幹 事	清水 啓治 (株)かんこう	幹 事	熊谷樹一郎 摂南大学
幹 事	小野 徹 (株)ズームスケープ		
幹 事	村尾 吉章 日本アイ・ピー・エム(株)	※*	は会計/事務局担当を示す。

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の2件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第45回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「工業写真計測とその応用」 福山大学 服部 進 氏  
「地理空間情報活用推進基本法と都市再生街区基本調査成果の活用」 奈良大学 確井 照子 氏  
当日は、学校関係者31名・官公庁職員19名・企業21名の総数71名が参加し、満員の講演会となりました。

(3) 第4回若手による技術発表会（2009年2月14日、常翔学園・大阪センター）

GISの運用・利活用、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる30才以下の『若手』に登壇いただき、以下の12件（社会人3件、学生9件）の技術研究発表を行いました。

「航空レーザ測量による取得データ活用の検討」	摂GIS 関西	森島 章仁
「枚方宿における変遷景観の把握」	大阪工業大学大学院	塩田 定俊
◎「地域コミュニティにおける安全安心のための情報システムの導入と運用の検討 ～三重県・大紀町野原地区での実証～」	三重大学大学院	白井真人
「大正時代の道頓堀境界」	大阪工業大学大学院	福田 明文
「数値地形図データ作成における考察」	㈱パスコ	吉場 聖剛
「参詣道における文化的景観の解析」	大阪工業大学大学院	伊藤 裕司
◎「街区単位での広域的な建物密集度分析における地理空間情報の適用性について」	摂南大学大学院	川原 広誉
「奈良盆地における山容景観の変遷と対比」	大阪工業大学大学院	石橋 一真
「航空写真測量による海底地形モデルの作成」	国際航業㈱	武田 航
「見えの連続性による都市公共空間の解析」	大阪工業大学大学院	舩野 拓也
◎「延焼遮断機能を対象とした植生分布分析手法の改良と応用」	摂南大学大学院	伊勢木 祥男
「京都における竹林景観の分析」	大阪工業大学大学院	仙波 拓也

当日の参加者数は、学校関係者34名・官公庁職員4名・企業23名の総数61名にのぼり、大盛況となりました。会場では幅広い分野からの熱のこもった発表が行われ、発表後の質疑応答では多くの質問が飛び交い、関連な議論の場となりました。また、発表していただいた方に対して、今後の励みとなるよう優秀発表者（発表演題横に◎印）を選出し、発表会後の懇親会で表彰を行いました。

## (4) 第9回関西地域 GIS 自治体意見交流会

(2009年2月26日、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷホール)

GIS学会関西地方事務局との共催行事として、関西地域 GIS 自治体意見交流会を開催しました。当日は総勢144名の参加者があり、大変盛況でした。講演内容は以下のとおりです。

「GISを取り巻く近年のトピックと自治体の取り組み」	兵庫県立大学	福島 徹 氏
「門真市における基盤地図データの整備と統合型 GIS について」	門真市	一氏 昭吉 氏
「文化財地図検索システムについて～位置参照点閲覧システムの活用事例～」	近江八幡市	中村 吉孝 氏
「GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会における “道路占用に関する協議・申請システム（基盤地図利用促進）” について」	阪南市	崎山 良三 氏
「新技術による GIS の更新」	高槻市	大伴 邦男 氏
パネルディスカッション 「地域社会と GIS」		
コーディネータ：柳川 重信 氏	(日本写真測量学会関西支部長)	
パネラ：福島 徹 氏	(前掲)	一氏 昭吉 氏 (前掲)
中村 吉孝 氏	(前掲)	崎山 良三 氏 (前掲)
大伴 邦男 氏	(前掲)	

平成20(2008)年度支部活動報告より

なお、以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載中です。また、今後の活動内容につきましても随時更新していく予定です。

# 2009年度の 支部活動

平成21年度

## \*\*\*\*\* 標定 点 \*\*\*\*\*

### 日本写真測量学会関西支部と私

柳川重信（日本写真測量学会・関西支部長）



私と写真測量の出会いは、豊中市役所に入りたての35年前、業務上測量士補の資格が必要と上司に進められて、文科系の私が、測量士補の国家試験の内「写真測量」の科目に挑戦したことが始まりです。その後、測量研修として、建設大学校（現国土交通大学校）の測量研修で、本学会の村井俊治会長をはじめ清水英範事務局長のリモートセンシング、写真測量、GIS等の講義を受講する機会に恵まれました。この時、基準点測量、用地測量は、地方自治体においては、身近な業務に活用でき、重要と考えていましたが、リモートセンシング、写真測量については、衛星画像、航空写真からこんな凄いことが出来る技術があると認識した程度でした。1995年から豊中市においてDM500作成業務に従事するとは思ってもよらず、聞き流したことに後悔しました。

その後、関西支部と私とのかかわりは、2002年5月30日に、関西支部主催でできるブラザ京都在りて開催された地理情報標準講演会「国際標準と地理情報標準第2版」の参加者総勢約200名の内1名でした。そして、2003年8月30日に、第11回話題交換会で話題提供、平成14年度秋季学術講演会が大阪で開催され二日目のパネルディスカッション「空間情報を作る側と使う側の接点」にパネラーとして参加、最終日には、豊中市消防本部において、豊中市のGIS見学会を主催していただいたことが、きっかけとなり、2005年6月自治体担当幹事に、2007年6月には、最年長の私に「白羽の

「写真測量とリモートセンシング」VOL.48, NO.2, 2009

矢」ならぬ吉村副支部長、熊谷事務局担当幹事の「陰謀の矢」?により関西支部長に就任することになりました。

日本写真測量学会関西支部では、「空間情報に関する普及活動」をメインテーマに活動しています。2004年4月からは、これまでの空間情報ワーキンググループを発展的に解消し、「空間情報の計測と利用」に興味を持つ方対象に、2ヶ月に1度（各偶数月の最終金曜日夕方）空間情報に関連した話題を提供いただく「空間情報話題交換会」を開催しています。

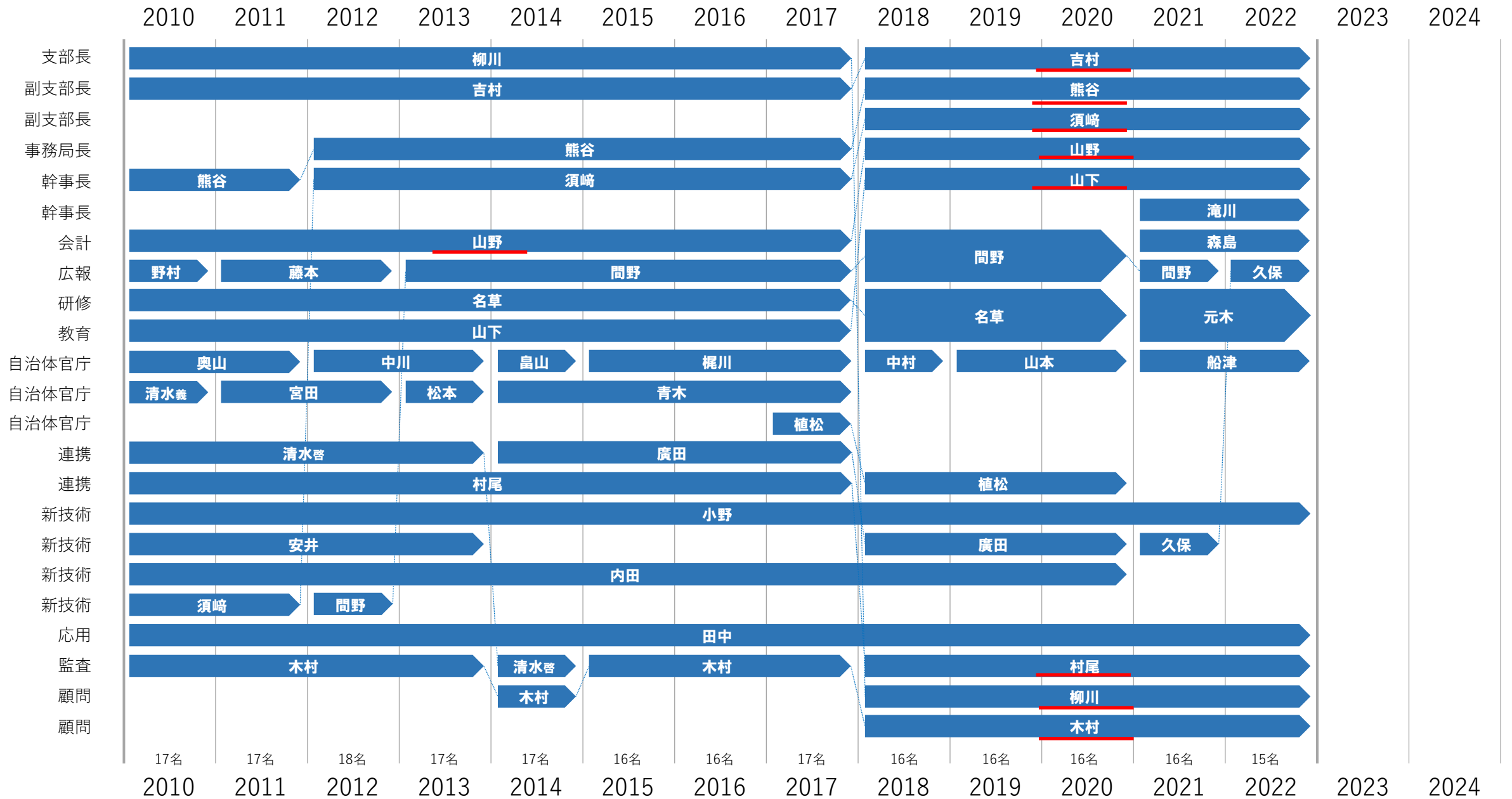
関西地区においては、2002年より姉妹関西情報・産業活性化センターが、GISの利用促進を図るため、「GIS/電子地図の会」を立ち上げ、産・官・学による研究会を組織しGISに関する基礎知識や最新の技術動向、自治体や企業における先進的な事例の紹介を行っていましたが、2005年で終了しました。このような背景から、空間情報話題交換会の開催等を通じてGISの普及、促進に努めております。

日本写真測量学会関西支部と地理情報システム学会関西地方事務局では、共催行事としてGISの運用・利活用、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる30才以下の「若手」による技術研究発表の場として「若手による技術研究発表会」を開催し、発表者の若手に対しては、今後の励みとなるよう優秀発表の表彰をしています。また、行政全般を効率化させる手段としてGISの先進的な取り組みを行っている先導的役割の自治体も数多く存在していますが、反面立ち遅れている自治体もあり、よりGISの普及、促進に努める目的で、「関西地域GIS自治体意見交流会」を毎年開催しています。その他の行事としては、リモートセンシング、GISフリーソフトGRASSを体験しよう等の講習会、支部総会後の講演会を開催し好評を得ています。

最後になりますが、「空間情報話題交換会」が第50回目の節目に村井俊治会長を向かえ6月26日に講演会を開催の予定をしています。ふるって御参加お願いいたします。

## 2009年と2010年度の支部活動報告が見当たらず

# 日本写真測量学会関西支部 役員の変遷 (2010~2022)



# 2010年度の 支部活動

平成22年度（2010年度）事業報告

平成22年度

## I. 事業に関する事項

### ① 機関紙の発行

該当なし

### ② 研究例会の開催

(1) 講習会を下記の通り開催した。

基礎から学ぶデジタル写真測量講習会

日 時；平成22年 8月 20日 10:00～17:00

場 所；近畿測量専門学校

参加人数；39名

講 師；小野 徹（ズームスケープ）・内田 修（アジア航測）

### ③ 講演会の開催

(1) 特別講演会を下記の通り開催した。

・ 第30回支部総会に伴う特別講演会（空間情報話題交換会第54回を兼ねる）

日 時；平成22年 6月25日 14:40～17:00

場 所；常翔学園・大阪センター

参加人数；61名

講演題目；

国土地理院地理空間情報部基盤地図情報課・飯田 洋 氏

「基盤地図情報の整備・更新事業について」

東京都北区まちづくり部まちづくり推進課・和田陽一 氏

「自治体まちづくり事業における空間情報取得とその利活用」

(2) 講演会を下記の通り開催した。

・ 第53回空間情報話題交換会

日 時；平成22年 4月23日 17:30～19:00

場 所；常翔学園・大阪センター

参加人数；69名

株式会社パスコ 今西 暁久 氏・株式会社GIS関西 安井 嘉文 氏

「新技術MMSを用いた現況平面図作成について」

・ 第6回若手による技術研究発表会

※地理情報システム学会関西支部との共催。

日 時；平成22年 8月27日 14:30～17:30

場 所；常翔学園・大阪センター

参加人数；68名

講演題目；

荒木 実穂 氏（大阪工業大学大学院）

「大阪市における緑環境の把握」

水嶋 翔吾氏（摂南大学大学院）

「水路網に着目した植生の空間分布に関する分析の試み」

小野原彩香氏（同志社大学大学院）

「総合的観点からの文化事象の流通路と滞留一岐阜県方言をベースとして」

松村 隆範氏（大阪工業大学大学院）

「水都大阪における歴史的変遷の把握」

塩田 定俊氏（国際航業）

「砂防基盤図の作成 ～空間情報技術を用いて～」

細江 佳氏（アジア航測）

「Live ViewとGISを利用した調査業務手法の検討」

笹 欽一氏（豊中市）

「新技術MMSの公共測量への適用について」

森 翔吾氏（摂南大学大学院）

「人口分布と土地利用分布に基づいた市街地集積度分析」

岩佐省吾氏（京都大学大学院）

「密度推定指標を用いた多偏波SARデータからの都市域分類」

杉山 剛氏（大阪工業大学大学院）

「都市空間の夕暮れ要素抽出方法～建築物のガラス窓に着目して～」

小堀 裕貴氏（アジア航測）

「LiveViewによる景観保存技術の提案」

太田 祐喜氏（京都大学大学院）

「密集市街地を対象とした3次元都市モデリングの省力化」

木村 清聡氏（GIS関西）

「MMSデータを利用した応用測量分野に向けた検証」

湯谷享泰氏（パスコ）

「航空レーザ計測などの大容量点群データを用いた三次元表現について」

・ テクニカルセミナー・第55回空間情報話題交換会

日 時；平成22年10月29日 17:30～19:30

場 所；常翔学園・大阪センター

参加人数；47名

大阪市立大学大学院 鍋島 美奈子 氏

「移動観測による気温の実測と空間補間について」

2010年度事業報告で代用

- 第11回関西地域GIS自治体意見交流会
  - ※地理情報システム学会関西支部との共催
  - 日時；平成22年11月26日 13：30～17：30
  - 場所；高槻現代劇場 文化ホール3F会議室（レセプションルーム）
  - 参加人数；138名
  - 国土地理院 近畿地方測量部 門脇 利広氏
    - 「基盤地図情報の整備・更新と活用」
  - 大阪府高槻市水道部管路整備課 原本 節男氏
    - 「高槻市における水道GIS」
  - 大阪府豊中市政策企画部情報政策室 小松 太郎氏
    - 「基盤地図情報の自治体における利用」
  - 京都府宇治市総務部税務室資産税課 青木 和人氏
    - 「宇治市のデータベースと庁内活用について」
  - 大阪府立工業高等専門学校 山野 高志氏
    - 「空間情報を活用した土地区画整理事業のビジュアライゼーション」

- テクニカルセミナー・第56回空間情報話題交換会
  - 日時；平成22年12月10日 17：30～19：30
  - 場所；常翔学園・大阪センター
  - 参加人数；33名
  - 京都大学大学院 西山 哲氏
    - 「デジタル画像計測を使った土木構造物の変状監視の実例と課題」

- テクニカルセミナー・第57回空間情報話題交換会
  - 日時；平成23年 2月10日 17：30～19：30
  - 場所；常翔学園・大阪センター
  - 参加人数；35名
  - 総合地球環境学研究所 酒井 徹氏
    - 「シベリアにおける環境災害 - 宇宙からの監視 - 」

④ その他

- ホームページによる広報活動を実施した。
  - 参考 URL； <http://www.isprs-w.org/>

II. 処務の概要について

① 役員等に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	現職	備考
支部長	非常勤	柳川 重信	18年6月9日	業務の総括	なし	GIS関西	
副支部長	非常勤	吉村 充則	18年6月9日	業務の総括	なし	パスコ	
幹事長	非常勤	熊谷 樹一郎	18年6月9日	業務の総括	なし	摂南大学	
監事	非常勤	木村 雅俊	20年6月13日	監査	なし	元太洋エンジニアリング	
幹事	非常勤	奥山 祥司	21年6月26日	自治体官庁	なし	国土地理院	
同	非常勤	清水 義博	22年6月25日	自治体官庁	なし	大阪府	
同	非常勤	清水 啓治	18年6月9日	連携	なし	かんこう	
同	非常勤	村尾 吉章	19年6月1日	連携	なし	日本IBM	
同	非常勤	小野 徹	18年6月9日	新技術	なし	ズームスケープ	
同	非常勤	名草 一成	22年6月25日	研修	なし	国際航業	
同	非常勤	野村 唯彦	22年6月25日	広報	なし	パスコ	
同	非常勤	安井 嘉文	19年6月1日	新技術	なし	GIS関西	
同	非常勤	内田 修	21年6月26日	新技術	なし	アジア航測	
同	非常勤	田中 一成	18年6月9日	応用	なし	大阪工業大学	
同	非常勤	山下 恵	18年6月9日	教育	なし	近畿測量専門学校	
同	非常勤	須崎 純一	19年6月1日	新技術	なし	京都大学大学院	
同	非常勤	山野 高志	22年6月25日	会計	なし	大阪府立工業高等専門学校	

② 会議等に関する事項

(1) 支部役員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
22年 6月 25日	1. 議長選任 2. 平成 21 年度事業報告及び収支決算報告について	互選により選出 全会一致で承認・可決
23年 2月 10日	1. 平成 23 年度事業計画及び収支予算（案）について 2. 総会時の特別講演会の企画について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認



# 2011年度 の支部活動

関西支部では、平成 23 年度に空間情報話題交換会、技術発表会、見学会、支部総会・講演会などを開催してきました。活動の概要を以下のように報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催されている空間情報話題交換会では、平成 23 年度に次のような話題提供がありました。なお、空間情報話題交換会は第 55 回より「テクニカルセミナー」を冠して、参加者の継続的な能力開発を支援するスタイルとなっています。

### ①第 58 回空間情報話題交換会 (2011 年 4 月 22 日, 常翔学園・大阪センター)

「市民にわかりやすい地震ハザードマップを目指して」 株式会社パスコ 石井 一徳 氏

### ②第 60 回空間情報話題交換会 (2011 年 8 月 26 日, 常翔学園・大阪センター)

「準天頂衛星『みちびき』による、アーバンキャニオンにおける測位率の改善」  
三菱電機株式会社 瀧口 純一 氏

### ③第 61 回空間情報話題交換会 (2011 年 10 月 28 日, 常翔学園・大阪センター)

「小型無人飛行体 (UAV) の写真測量への応用」 国際航業株式会社 川辺 匡功 氏  
「Mobile Mapping System で取得した全方位動画の利活用」

株式会社トブコンソキアポジショニングジャパン 中嶋 力也 氏

### ④第 62 回空間情報話題交換会 (2011 年 12 月 9 日, 常翔学園・大阪センター)

「文化科学から見た『地理情報標準』の意義と可能性」 同志社大学 藤本 悠 氏

### ⑤第 63 回空間情報話題交換会 (2012 年 2 月 10 日, 常翔学園・大阪センター)

「地方自治体の非図面管理部門における統合型 GIS 活用の意義」 宇治市 青木 和人 氏

## (2) 平成 23 年度関西支部総会・特別講演会 (2011 年 6 月 24 日, 常翔学園・大阪センター)

### a) 総会

平成 22 年度事業報告, 平成 22 年度収支決算, 平成 23 年度事業計画案, 平成 23 年度収支予算案, 役員の追加について審議の結果, 満場一致で了承を得て新年度の事業を進めることになりました。なお, 平成 23 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	柳川重信 (株)GIS 関西	幹 事	名草一成 国際航業(株)
副支部長	吉村充則 (株) パスコ	幹 事	安井嘉文 (株) GIS 関西
幹 事 長	熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事	内田 修 アジア航測(株)
監 事	木村雅俊 (株)かんこう	幹 事	田中一成 大阪工業大学
幹 事	奥山祥司 国土地理院近畿地方測量部	幹 事	山下 恵 近畿測量専門学校
幹 事	宮田信雄 大阪府	幹 事	須崎純一 京都大学大学院
幹 事	清水啓治 (株)かんこう	幹 事	山野高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事	小野 徹 (株)ズームスケープ	幹 事	藤本 悠 同志社大学
幹 事	村尾吉章 日本アイ・ピー・エム(株)	※*	は会計担当を示す。

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 3 件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第 59 回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「JSPRS 関西支部の活動と技術者教育とのかかわり」 株式会社パスコ 吉村 充則 氏  
「四国におけるリモートセンシングと GIS に関する取り組み」 高知工科大学 高木 方隆 氏  
「JSPRS 北信越支部の活動と KIT 空間情報プロジェクト」 金沢工業大学 鹿田 正昭 氏  
当日は、学校関係者 19 名・官公庁職員 15 名・企業 21 名の総数 58 名が参加し、満員の特別講演会となりました。

### (3) 見学会 (2011 年 11 月 16 日, 三菱電機株式会社先端技術総合研究所)

大阪府測量設計業協会との共催行事として「三菱電機株式会社先端技術総合研究所の空間情報関連技術の見学」を実施いたしました。当日は、概要説明を受けた後、二班に分かれた上で、ITS 関連、モバイル・マッピング、設備管理応用などの地図情報技術や、スマートグリッド関連技術、広域侵入者監視技術などを見学しました。参加者は総勢で 47 名となり、盛会裡に終えることができました。

### (4) 若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2011 年度大会 (2011 年 11 月 21 日～22 日, 建設交流館) G 空間 EXPO「関西 G 空間フォーラム」 in 和歌山 (2011 年 12 月 20 日, 和歌山ビッグ愛大ホール)

G 空間 EXPO2012 のプレイベントとして位置づけられた 2 つのイベントとして「若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2011 年度大会」および「G 空間 EXPO『関西 G 空間フォーラム』 in 和歌山」を開催しました。

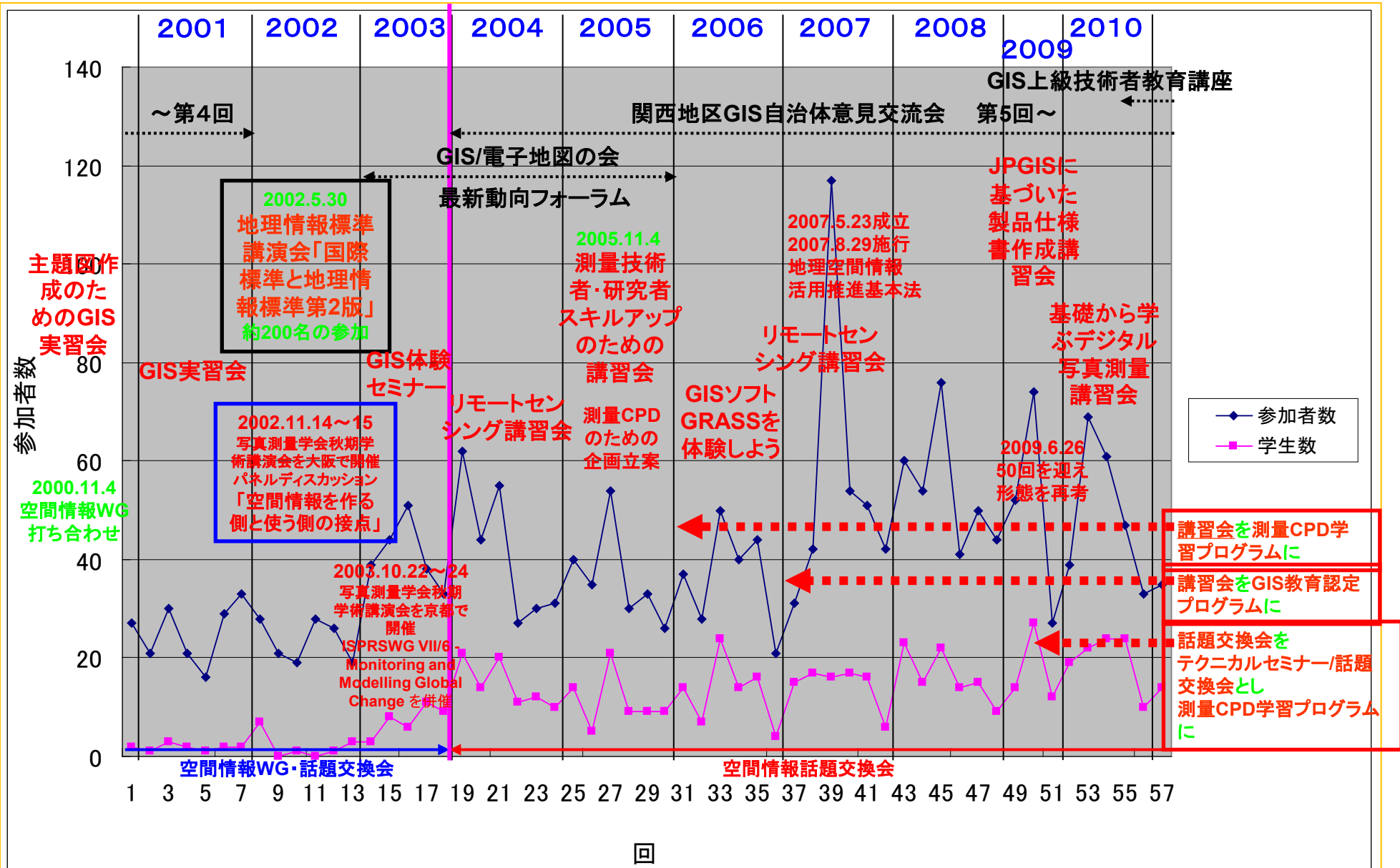
「若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2011 年度大会」は「関西 G 空間フォーラム」の構成イベントの一つとして開催されたものであり、地理情報システム学会関西支部、国土地理院近畿地方測量部・日本測量協会関西支部、大阪府測量設計業協会がそれぞれで主催したイベントが同時開催されています。詳しくは本誌「活動報告」のページをご覧ください。

「G 空間 EXPO『関西 G 空間フォーラム』 in 和歌山」は、和歌山大学地域創造支援機構と FKP 研究会の協力と和歌山県と和歌市の後援の下、国土地理院近畿地方測量部、地理情報システム学会関西支部とともに主催したイベントです。地理空間情報活用推進を目的として、和歌山県内を中心とした地理空間情報の整備・活用推進に関わる自治体職員や産学官の関係者に対し、関西および和歌山県内における事例等を紹介し、地理空間情報の整備・活用について意見交換を行いました。

なお、以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載中です。また、今後の活動内容につきましても随時更新していく予定です。



# 関西地区における空間情報関連行事の変遷と 話題交換会における参加者数の推移









# 2012年度の 支部活動

関西支部では、平成 24 年度に空間情報話題交換会、技術発表会、講習会・セミナー、支部総会・講演会を開催してきました。活動の概要を以下のように報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催されているテクニカルセミナー・空間情報話題交換会では、昨年度の活動報告後からこれまでに次のような話題提供がありました。

### ①第 64 回空間情報話題交換会 (2012 年 4 月 27 日, 常翔学園・大阪センター)

「デジタル写真測量による橋梁構造物の維持管理・点検技術の紹介」

株式会社ズームスケープ 小野 徹 氏

### ②第 66 回空間情報話題交換会 (2012 年 8 月 23 日, 常翔学園・大阪センター)

「ヒートアイランド対策を考えた都市づくり」

摂南大学 森山 正和 氏

### ③第 67 回空間情報話題交換会 (2012 年 12 月 7 日, 常翔学園・大阪センター)

「空間情報とベイズ統計 -人物動態の観測から分析」

東京大学大学院 布施 孝志 氏

## (2) 平成 24 年度関西支部総会・特別講演会 (2012 年 6 月 29 日, 常翔学園・大阪センター)

### a) 総会

平成 23 年度事業報告、平成 23 年度収支決算、支部規定の改正、平成 24 年度事業計画案、平成 24 年度収支予算案、役員改選について審議の結果、満場一致で了承を得て平成 24 年度の事業を進めることになりました。なお、平成 24 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	柳川重信 (株)GIS 関西	幹 事	安井嘉文 (株) パスコ
副支部長	吉村充則 (株) パスコ	幹 事	内田 修 アジア航測(株)
事務局長	熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事	田中一成 大阪工業大学
幹 事 長	須崎純一 京都大学大学院	幹 事	山下 恵 近畿測量専門学校
幹 事	中川勝登 国土地理院近畿地方測量部	幹 事	山野高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事	宮田信雄 大阪府	幹 事	藤本 悠 同志社大学
幹 事	清水啓治 (株)かんこう	幹 事	間野耕司 (株) パスコ
幹 事	小野 徹 (株)ズームスケープ	監 事	木村雅俊 (株)かんこう
幹 事	村尾吉章 日本アイ・ビー・エム(株)	※*	は会計担当を示す。
幹 事	名草一成 国際航業(株)		

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 2 件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第 65 回空間情報話題交換会を兼ねて開催されています。

「社会基盤情報の流通と課題 -国土・公共施設から人流の情報まで」

東京学空間情報科学研究センター 関本 義秀 氏

「空の状態観測手法を応用した地上の光環境解析と広域展開への可能性」 近畿測量専門学校 山下 恵 氏

当日は、学校関係者 19 名・官公庁職員 7 名・民間企業 30 名の総数 56 名が参加し、盛やかな特別講演会となりました。

### (3) 数値地形図データ製品仕様書作成実践セミナー (2012 年 10 月 12 日, 常翔学園・大阪センター)

国土地理院が公開している適用製品仕様書・標準製品仕様書を利用して製品仕様書を簡便に作成する方法について紹介し、その基本的考え方や応用方法などを学ぶセミナーを開催しました。当支部の村尾吉章幹事が講師となり、自治体独自の仕様を盛り込んだ製品仕様書が作成可能となるような実践的な技術について講演されました。19 名の参加者はメモをとるなど熱心に受講されていました。

### (4) Prof. Clive Fraser セミナー (2012 年 11 月 7 日, キャンパスプラザ京都)

写真測量において著名なメルボルン大学の Clive Fraser 教授のセミナーを開催しました。「Recent developments in photogrammetric orientation of close-range image networks and high-resolution satellite imagery (写真測量における近接画像ネットワークの標定と高解像度衛星に対する最近の開発)」といった演題でご講演いただき、セミナー終了後は Fraser 教授を囲んでの small party を開催しました。参加者 21 名のほとんどが small party に参加するなど、実りの多いセミナーとなりました。

### (5) 若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2012 年度大会 (2012 年 11 月 16 日, 業業年金会館)

#### 関西 G 空間フォーラム in 奈良 (2012 年 12 月 3 日, 春日野荘)

「関西 G 空間フォーラム 2012」の構成イベントとして、「若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2012 年度大会」および「関西 G 空間フォーラム in 奈良」を開催しました。

「関西 G 空間フォーラム」は当支部、国土地理院近畿地方測量部、地理情報システム学会関西支部、日本測量協会関西支部、大阪府測量設計業協会が共同で主催した行事であり、測量技術講演会、関西地域 GIS 自治体意見交流会などが併催されました。「若手技術者・研究者のための技術研究発表会 2012 年度大会」では 11 件の口頭発表と 24 件のポスター発表があり、以下の 6 件に優秀研究発表賞と優秀ポスター発表賞を授与しました。

#### 【優秀研究発表賞】

「都市拠点周辺集積状態に関する経年変化について」

摂南大学大学院・林 優弥

「混合交通流における二輪・四輪車の軌跡の自動解析手法の開発」

京都大学大学院・久保 裕聖

「空間情報の利活用事例の報告 ～標高マップを作成～」

国際航業株式会社・元木 健太

#### 【優秀ポスター発表賞】

「デジタル写真測量を用いた車両の 3 次元位置および車間距離の推定」

京都大学大学院・近藤 祐吉

「新旧住宅地図における建築物推定」

東京大学大学院・池田 健虎

「ならまちの地域住民と防災組織の在り方を探る」

奈良大学・池田 翔一

一方、「関西 G 空間フォーラム in 奈良」は、奈良市、

日本測量協会関西支部の後援の下、国土地理院近畿地方測量部、地理情報システム学会関西支部、奈良県、奈良県測量設計業協会、NPO 奈良都市再生情報センターとともに主催したイベントです。特別講演として奈良大学の碓井照子教授から「産官学連携による奈良県における基盤地図情報の整備と更新」といった演題でご講演があり、地理空間情報に関する国の施策や研究分野の動向が紹介されるとともに、奈良県内での地理空間情報の活用と地域活動の内容が報告されました。



支部長と優秀研究発表賞・優秀ポスター発表賞の受賞者

なお、以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載中です。また、今後の活動内容につきましても随時更新していく予定です。

# 2013年度の 支部活動

## 空間情報学講習会が支部主要活動に

関西支部では、平成 25 年度に空間情報話題交換会、技術研究発表会、講習会、支部総会・講演会を開催してきました。活動の概要を以下のように報告します。

### (1) 空間情報話題交換会

主要な支部活動として二ヶ月に一度、偶数月の最終金曜日に開催しているテクニカルセミナー・空間情報話題交換会では、昨年度の活動報告後からこれまでに次のような話題提供がありました。第 72 回には近津博文会長をお招きし、興味深い話題提供をいただいています。

#### ①第 68 回空間情報話題交換会 (2013 年 2 月 8 日, 常翔学園・大阪センター)

「自治体における GIS の取り組み—豊中市の GIS—」

「これからの豊中市の GIS」	豊中市 情報政策課 喜多 賢一 氏
「境界確定管理システムと地籍調査」	豊中市 資産活用部土地活用課 池之上 秀紀 氏
「基準点管理と道路台帳システム」	豊中市 都市基盤部道路管理課 笹 欽一 氏

#### ②第 69 回空間情報話題交換会 (2013 年 4 月 26 日, 常翔学園・大阪センター)

「飛行船ロボットを用いた自動情報収集・提示システム」 神戸大学大学院 深尾 隆則 氏

#### ③第 71 回空間情報話題交換会 (2013 年 10 月 31 日, 常翔学園・大阪センター)

「大型建造物の変位分布を画像を使って遠隔からリアルタイムに計測する技術の紹介」  
和歌山大学 藤垣 元治 氏

#### ④第 72 回空間情報話題交換会 (2013 年 12 月 6 日, 常翔学園・大阪センター)

「画像と測量—デジタルカメラによる写真測量とその展望—」 日本写真測量学会会長  
東京電機大学 近津 博文 氏

### (2) 平成 25 年度関西支部総会・特別講演会 (2013 年 6 月 28 日, 常翔学園・大阪センター)

#### a) 総会

平成 24 年度事業報告、平成 24 年度収支決算、平成 25 年度事業計画案、平成 25 年度収支予算案、役員の改選について審議の結果、満場一致で了承を得て平成 25 年度の事業を進めることになりました。なお、平成 25 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長 柳川重信 (株)GIS 関西	幹 事 名草一成 国際航業(株)
副支部長 吉村充則 (株)パスコ	幹 事 安井嘉文 (株)パスコ
事務局長 熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事 田中一成 大阪工業大学
幹 事 長 須崎純一 京都大学大学院	幹 事 山下 恵 近畿測量専門学校*
幹 事 中川勝登 国土地理院近畿地方測量部	幹 事** 山野高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事 松本 弦 大阪府	幹 事 間野耕司 (株)パスコ
幹 事 清水啓治 (株)かんこう	監 事 木村雅俊 (株)かんこう
幹 事 小野 徹 (株)ズームスケープ	*2013 年 8 月より東京農工大学へ異動。
幹 事 村尾吉章 日本アイ・ピー・エム(株)	**会計担当幹事。
幹 事 内田 修 アジア航測(株)	

#### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 2 件のご講演をいただきました。なお、本講演会は第 70 回空間情報話題交

換会を兼ねて開催されています。

「航空カメラの歴史にみる (空中) 写真測量の将来展望」 日本測量協会 津留 宏介 氏

「国土地理院の最近の取組について」 国土地理院近畿地方測量部 中川 勝登 氏

当日は、学校関係者 11 名・官公庁職員 5 名・民間企業 22 名の総数 38 名が参加され、盛会な特別講演会となりました。

### (3) 基礎から学ぶ空間情報学講習会 (2013 年 9 月 13 日, 常翔学園・大阪センター)

空間情報学の基礎を学ぶことを目的とした講習会を実施しました。当支部の内田修幹事 (担当: デジタル写真測量)、間野耕司幹事 (担当: モバイルマッピングシステム (MMS)), 須崎純一幹事長 (担当: 合成開口レーダ (SAR)), 山下恵幹事・村尾吉章幹事 (担当: 地理情報システム (GIS)) がそれぞれの分野の講師となり、空間情報関連業務に就いた担当者が空間情報学の基礎的な内容を包括的に学ぶ機会を設けました。7 時間にわたる密度の濃い講習会となりましたが、35 名の参加者は熱心に受講されていました。

### (4) 若手技術者・研究者のための技術研究発表会 (2013 年 11 月 29 日, 業業年金会館)

「関西 G 空間フォーラム 2013」の構成イベントとして、「若手技術者・研究者のための技術研究発表会」を開催しました。

本年度の「関西 G 空間フォーラム」は、日本測量協会関西支部の協力の下で当支部、国土地理院近畿地方測量部、地理情報システム学会関西支部、大阪府測量設計業協会が共同で主催しており、測量技術講演会、関西地域 GIS 自治体意見交流会などが併催されました。「若手技術者・研究者のための技術研究発表会」では 11 件の口頭発表があり、以下の 4 件に最優秀発表賞および優秀発表賞を授与しました。

#### 【最優秀発表賞】

「航空機計測を用いた市街地における景観指標の評価」 京都大学大学院 ・小宮佑登

#### 【優秀発表賞】

「空間情報技術を用いた大阪の近代化変遷」 大阪工業大学大学院 ・西本貴洋

「豊中市公有財産管理システムの構築について」 豊中市役所 ・冨永未智留

「簡単かつ効率的な建築関係台帳システムの構築」 株式会社パスコ ・小田稔

なお、以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載中です。また、今後の活動内容につきましても随時更新していく予定です。



# 2014年度の 支部活動

関西支部では、平成 26 年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催してきました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として 2 ヶ月に 1 度、偶数月の最終金曜日に話題交換会テクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。2013 年 No. 6 の学会誌に掲載された活動報告からこれまでに次のような話題提供がありました。

①第 73 回空間情報話題交換会 (2014 年 2 月 7 日, 常翔学園・大阪センター)

「SfM-多視点画像解析を用いたインフラ構造物点検調査への応用」

株式会社 計測リサーチコンサルタント 西村 正三 氏

②第 74 回空間情報話題交換会 (2014 年 4 月 25 日, 常翔学園・大阪センター)

「地理空間情報の相互利用について」

アジア航測 株式会社 住田 英二 氏

③第 76 回空間情報話題交換会 (2014 年 10 月 24 日, 常翔学園・大阪センター)

「景観研究の課題と空間情報の活用可能性」

京都大学大学院 山口 敬太 氏

④第 77 回空間情報話題交換会 (2014 年 12 月 5 日, 常翔学園・大阪センター)

「高分解能・高頻度撮影が実現する地球観測衛星とそのデータ活用について」

日本スペースイメージング 株式会社 李 雲慶 氏

## (2) 平成 26 年度関西支部総会・特別講演会 (2014 年 6 月 27 日, 常翔学園・大阪センター)

### a) 総会

平成 25 年度事業報告、平成 25 年度収支決算、平成 26 年度事業計画案、平成 26 年度収支予算案、役員の改選について審議の結果、満場一致で了承を得て平成 26 年度の事業を進めることになりました。なお、平成 26 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	柳川重信 (株) GIS 関西	幹 事	名草一成 国際航業(株)
副支部長	吉村充則 (株) パスコ	幹 事	廣田安男 (株) かんこう
事務局長	熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事	間野耕司 (株) パスコ
幹 事 長	須崎純一 京都大学大学院	幹 事	村尾吉章 日本アイ・ビー・エム(株)
幹 事	青木和人 あおき地理情報システム研究所	幹 事	山下 恵 東京農工大学
幹 事	内田 修 アジア航測(株)	幹 事*	山野高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事	小野 徹 (株) ズームスケープ	監 事	清水啓治 (株) かんこう
幹 事	畠山裕司 国土地理院近畿地方測量部	顧 問	木村雅俊 (株) かんこう
幹 事	田中一成 大阪工業大学	*会計担当幹事。	

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 2 件のご講演をいただきました。本講演会は第 75 回空間情報話題交換会を兼ねて開催し、49 名が参加しました。

「衛星によるスマートセンシング」

東海大学 長 幸平 氏

「空間情報で考える健康格差」

立命館大学 中谷 友樹 氏

### (3) 空間情報講習会(基礎～中級編) (2014 年 8 月 1 日, 常翔学園・大阪センター)

今年の空間情報講習会は、3 次元計測に関連する写真測量とレーザリモートセンシングの基礎から中級までの内容を学ぶことを目的とし、36 名の参加者を集めて開催しました。当支部の須崎純一幹事長がレーザリモートセンシングを、内田修幹事が 3 次元計測に関連する写真測量を担当し、それぞれの基礎から応用事例までを学ぶ機会を設けました。

### (4) 若手による技術研究発表会 (2014 年 9 月 19 日, 常翔学園・大阪センター)

今年の若手による技術研究発表会では、42 名の参加者を集めて開催しました。この企画は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは 30 才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。その目的は、1) 学生においては、修士論文などの構想を発表し、意見・アドバイスを受ける機会を、2) 社会人においては、プレゼンテーションのスキルアップを図る機会を、それぞれ設けることです。発表は、10 編(社会人 4 編、学生 6 編)がありました。また、本支部全員の採点に基づき、以下に記す 3 名に優秀発表賞を授与しました。

#### 【優秀発表賞】

「地下公共空間における歩行者の滞留行動」

大阪工業大学大学院・松尾佳津史

「最小二乗マッチングを用いた斜面の自動変位計測」

株式会社ズームスケープ・若木伸也

「ALOS/PALSAR 画像を用いた東北地方太平洋沖地震津波による被災領域抽出の試み」

株式会社パスコ・井関禎之



写真1 若手による技術研究発表会での様子



写真2 若手による技術研究発表会の優秀発表賞受賞者  
(左から井関さん、柳川支部長、若木さん、松尾さん)

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。

最後に、当支部の幹事・監事などの役員を長年にわたり務めてこられた清水啓治様が平成 26 年 11 月 24 日に逝去されました。ご生前のご功績を偲び、当支部一同、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

# 2015年度の 支部活動

## 空間情報学講習会が支部の主要活動かつ継続行事に

関西支部では、平成 27 年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催しました。以下に概要を報告します。

### (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として 2 ヶ月に 1 度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。Vol. 53, No. 6 (2014 年) の学会誌に掲載された活動報告以降、次のような話題提供がありました。

- ①第 78 回空間情報話題交換会 (2015 年 2 月 6 日, 常翔学園・大阪センター)  
「統合型 GIS の意味と東日本大震災での活用」 浦安市 醍醐 恵二 氏
- ②第 79 回空間情報話題交換会 (2015 年 4 月 24 日, 常翔学園・大阪センター)  
「衛星 SAR を用いたダム等のインフラモニタリングについて」 国際航業株式会社 今井 靖晃 氏  
虫明 成生 氏  
本田 謙一 氏
- ③第 81 回空間情報話題交換会 (2015 年 10 月 23 日, 常翔学園・大阪センター)  
「Smart Cities の概念に基づいた空間情報の活用技術-CASA/UCL での潜在で見えてきたもの」  
摂南大学 熊谷 樹一郎 氏
- ④第 82 回空間情報話題交換会 (2015 年 12 月 4 日, 常翔学園・大阪センター)  
「『地形のヒミツが見えてくる 体感! 東京凸凹地図』について」 株式会社東京地図研究社 塚田 野野子 氏

### (2) 平成 27 年度関西支部総会・特別講演会 (2014 年 6 月 26 日, 常翔学園・大阪センター)

#### a) 総会

平成 26 年度事業報告, 平成 26 年度収支決算, 平成 27 年度事業計画案, 平成 27 年度収支予算案, 役員の改選について審議の結果, 満場一致で了承を得て平成 27 年度の事業を進めることになりました。なお, 平成 27 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長 柳川 重信 (株) GIS 関西	幹 事 田中 一成 大阪工業大学
副支部長 吉村 充則 (株) パスコ	幹 事 名草 一成 国際航業(株)
事務局長 熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事 廣田 安男 (株) かんこう
幹 事 長 須崎 純一 京都大学大学院	幹 事 間野 耕司 (株) パスコ
幹 事 青木 和人 あおき地理情報 システム研究所	幹 事 村尾 吉章 日本アイ・ビー・エム(株)
幹 事 内田 修 アジア航測(株)	幹 事 山下 恵 東京農工大学
幹 事 小野 徹 (株)ズームスケーブ	幹 事 山野 高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事 梶川 昌三 国土地理院近畿地方測量部	監 事 木村雅俊 (株)かんこう
	*会計担当幹事。

#### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 2 件のご講演をいただきました。本講演会は第 80 回空間情報話題交換会を兼ねて開催され、総勢 53 名が参加しました。

- 「3 次元空間情報技術の現状と課題」 株式会社パスコ 津口 雅彦 氏
- 「MODIS データを利用した落葉広葉樹の開葉判定と温暖化の影響予測」 岐阜大学 栗屋 善雄 氏

### (3) 2015 年空間情報学講習会 (基礎～中級編) (2015 年 8 月 7 日, 常翔学園・大阪センター)

今年の空間情報学講習会は、2013 年の基礎編で取り上げた MMS を航空レーザ計測まで拡大した上で、テーマを「レーザ計測と GIS」としました。講習内容も基礎から中級程度までに拡張し、36 名の参加者を集めて開催しました。当支部の村尾吉章幹事、山下恵氏、間野耕司氏が講師を担当し、それぞれ分野での基礎から応用事例までを学ぶ機会を設けました。詳しくは本誌 Vol. 54, No. 5 の「活動報告」をご覧ください。

### (4) 第 11 回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2015 年 9 月 25 日, 常翔学園・大阪センター)

「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は本年で 11 回目を数えることになりました。この企画は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは 30 才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。その目的は、1) 学生においては、修士論文などの構想を発表し、意見・アドバイスを受ける機会を、2) 社会人においては、プレゼンテーションのスキルアップを図る機会を、それぞれ設けることです。今年は参加者数 55 名の下、15 編(社会人 4 編, 学生 11 編)の発表がありました。また、本支部全役員の採点に基づき、以下に記す 2 名に優秀発表賞が授与されました。

#### 【優秀発表賞】

- 「MMS を用いた道路閉塞のおそれのある建築物の抽出」 株式会社パスコ・遠藤 弘隆 氏
- 「X バンド多偏波 SAR 画像を用いた都市域抽出手法の開発」 京都大学大学院・岸本 将明 氏



写真 1 若手技術者・研究者による技術研究発表会の様子



写真 2 技術研究発表会の優秀発表賞受賞者 (左から岸本さん、柳川支部長、遠藤さん。)

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。



# 2016年度 の支部活動

システム (GIS)」の内容で空間情報学講習会を基礎編 (2013 年)、基礎～中級編 (2014 年および 2015 年) と継続実施してきました。2 巡目となる本年度は、あらためて 4 つの分野の基礎編の講習会を開催しました。参加者数は 55 名となり、盛会のうちに終えることができました。詳しくは本誌 Vol. 55, No. 4 の「活動報告」をご覧ください。

関西支部では、平成 28 年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催しました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として 2 ヶ月に 1 度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。Vol. 54, No. 6 (2015 年) の学会誌に掲載された活動報告以降、次のような話題提供がありました。

- ①第 83 回空間情報話題交換会 (2016 年 2 月 12 日、常翔学園・大阪センター)  
「見ているかを見える化 視線追跡装置 一屋外広告物条例制定にむけた広告物の影響把握」  
大阪府立大学工業高等専門学校 山野 高志 氏
- ②第 84 回空間情報話題交換会 (2016 年 4 月 22 日、常翔学園・大阪センター)  
「モバイルマッピングシステム(MMS)による河川計測の研究」 株式会社パスコ 橋 菊生 氏
- ③第 86 回空間情報話題交換会 (2016 年 10 月 28 日、常翔学園・大阪センター)  
「中小河川河道閉塞時の氾濫被害に関する研究」 京都大学大学院 岡本 陸明 氏
- ④第 87 回空間情報話題交換会 (2016 年 12 月 2 日、常翔学園・大阪センター)  
「ASTER の利活用・次世代ハイパーセンサ開発」 産業技術総合研究所 岩男 弘毅 氏

## (2) 8 年度関西支部総会・特別講演会 (2016 年 6 月 24 日、常翔学園・大阪センター)

### a) 総会

平成 27 年度事業、平成 27 年度収支決算について報告があり、平成 28 年度事業計画案、平成 28 年度収支予算案について審議の結果、満場一致で了承を得て平成 28 年度の事業を進めることになりました。なお、平成 28 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長 柳川 重信 (株) GIS 関西	幹 事 田中 一成 大阪工業大学
副支部長 吉村 充則 (株) パスコ	幹 事 名草一成 国際航業(株)
事務局長 熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事 廣田 安男 (株) かんこう
幹 事 長 須崎 純一 京都大学大学院	幹 事 間野 耕司 (株) パスコ
幹 事 青木 和人 あおき地理情報システム研究所	幹 事 村尾 吉章 日本アイ・ピー・エム(株)
幹 事 内田 修 アジア航測(株)	幹 事 山下 恵 東京農工大学
幹 事 小野 徹 (株) ズームスケープ	幹 事* 山野 高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事 梶川 昌三 国土地理院近畿地方測量部	監 事 木村 雅俊 (株) かんこう
	*会計担当幹事。

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の 2 件のご講演をいただきました。本講演会は第 85 回空間情報話題交換会を兼ねて開催され、総勢 62 名が参加しました。

- 「国土地理院の災害対応」 国土地理院近畿地方測量部 梶川 昌三 氏
- 「地理空間情報としての道路について考える」 筑波大学 堤 盛人 氏

## (3) 2016 年基礎から学ぶ空間情報学講習会 (2016 年 7 月 29 日、常翔学園・大阪センター)

関西支部ではこれまで、「デジタル写真測量」・「衛星リモートセンシング」・「レーザ計測」・「地理情報

## 話題交換会と 空間情報学講習会 が支部行事の 両輪として確立

## (4) 第 12 回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2016 年 9 月 16 日、常翔学園・大阪センター)

本年度で 12 回目を迎えた「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは 30 才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。その目的は、1) 学生においては、修士論文などの構想を発表し、意見・アドバイスを受ける機会を、2) 社会人においては、プレゼンテーションのスキルアップを図る機会を、それぞれ設けることです。今年は参加者数 41 名の下、19 編(社会人 5 編、学生 14 編)の発表がありました。また、本支部全役員の採点に基づき、次の 1 名に最優秀発表賞が、4 名に優秀発表賞が授与されました。

### 【最優秀発表賞】

「DInSAR による地盤変動推定精度の向上を目的とした可降水量推定」 京都大学大学院・前田 直也 氏

### 【優秀発表賞】

- 「差分干渉 SAR 解析を用いた地盤沈下に伴う建造物の抜け上がり検知手法の開発」 京都大学大学院・丸尾 尚之 氏
- 「植生分布の空間特性の観点からの都市構造分析の試み」 摂南大学大学院・松田 優花 氏
- 「GCOM-C/SGLI プロダクトに向けた BRDF モデルを用いた陸域アルベドの推定アルゴリズムの検証」 京都大学大学院・宮垣 亮汰 氏
- 「3 次元空間を考慮した認知空間の歪みと空間要素」 大阪工業大学大学院・酒井 拓夫 氏



写真 1 柳川支部長を囲む若手技術者・研究者による技術研究発表会の最優秀発表賞および優秀発表賞の受賞者

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新し



# 2017年度 の支部活動

関西支部では、平成 29 年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催しました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。Vol. 55, No. 6 (2016 年) の学会誌に掲載された活動報告以降、次のような話題提供がありました。

- ①第 88 回空間情報話題交換会 (2017 年 2 月 3 日, 摂南大学・寝屋川キャンパス)  
「静岡県が目指すデータの利活用とは？」 静岡県 杉本 直也 氏
- ②第 89 回空間情報話題交換会 (2017 年 4 月 28 日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「3D 点群マッチングとその応用」 アジア航測株式会社 織田 和夫 氏
- ③第 91 回空間情報話題交換会 (2017 年 10 月 20 日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「宇宙から災害を見る, G 空間情報で災害リスクを知る」 茨城大学 小荒井 衛 氏
- ④第 92 回空間情報話題交換会 (2017 年 12 月 1 日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「合成開口レーダ(SAR)を用いた海水モニタリング技術」 日本大学 若林 裕之 氏

## (2) 平成 29 年度関西支部総会・特別講演会 (2017 年 6 月 30 日, 大阪府立大学・I-site なんば)

### a) 総会

平成 28 年度事業, 平成 28 年度収支決算について報告があり, 平成 29 年度事業計画案, 平成 29 年度収支予算案について審議の結果, 満場一致で了承を得て平成 29 年度の事業を進めることになりました。なお, 平成 29 年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	柳川重信 (株) GIS 関西	幹 事	名草一成 国際航業(株)
副支部長	吉村充則 (株) パスコ	幹 事	廣田安男 (株)かんこう
事務局長	熊谷樹一郎 摂南大学	幹 事	間野耕司 (株) パスコ
幹 事 長	須崎純一 京都大学大学院	幹 事	村尾吉章 日本アイ・ピー・エム(株)
幹 事	青木和人 あおき地理情報システム研究所	幹 事	山下 恵 東京農工大学
幹 事	内田 修 アジア航測(株)	幹 事	植松 恒 京都市教育委員会
幹 事	小野 徹 (株)ズームスケープ	幹 事*	山野高志 大阪府立大学工業高等専門学校
幹 事	梶川昌三 国土地理院近畿地方測量部	監 事	木村雅俊 (株)かんこう
幹 事	田中一成 大阪工業大学	*会計担当幹事。	

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では, 次の 2 件のご講演をいただきました。本講演会は第 90 回空間情報話題交換会を兼ねて開催され, 総勢 43 名が参加しました。

- 「点事象データから地域を観る」 東北大学 井上 亮 氏
- 「透水面分布の空間特性に着目した広域分析手法の開発と応用」 京都市教育委員会事務局 植松 恒 氏



写真 1 平成 29 年度関西支部総会・特別講演会の様子 (講演者の井上亮先生 (右上), 植松恒氏 (右下))

## (3) 2017 年基礎から学ぶ空間情報学講習会 (2017 年 8 月 4 日, 大阪府立大学・I-site なんば)

関西支部ではこれまで, 「デジタル写真測量」・「衛星リモートセンシング」・「レーザ計測」・「地理情報システム (GIS)」の内容で空間情報学講習会を基礎編 (2013 年), 基礎～中級編 (2014 年および 2015 年) と継続実施してきました。2 巡目の 2 年目となる本年度は, 「写真測量」と「衛星リモートセンシング」の基礎から中級編の講習会を開催しました。参加者数は 32 名となり, 盛会のうちに終えることができました。詳しくは本誌 Vol. 56, No. 4 の「活動報告」をご覧ください。

## (4) 第 13 回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2017 年 9 月 29 日, 大阪府立大学・I-site なんば)

本年で 13 回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は, 空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは 30 才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。今年は新たな試みとなる「英語セッション」が追加されました。参加者数 46 名の下, 16 編(社会人 5 編, 学生 11 編)の発表がありました。詳しくは本誌 Vol. 56, No. 5 の「活動報告」をご覧ください。

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては, 支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので, ご覧ください。



# 2018年度 の支部活動

の支部活動に関わってこられた産官学からの参加者、学生時代に「若手技術者・研究者による技術研究発表会」で発表を経験された方々など多数の参加者に恵まれ、盛会裡に終えることができました。

関西支部では、平成30年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催しました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。Vol.56, No.6 (2017年)の学会誌に掲載された活動報告以降、次のような話題提供がありました。

- ①第93回空間情報話題交換会 (2018年2月2日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「JAXA 地球観測衛星プログラムと地理空間情報分野での利用」 宇宙航空研究開発機構 田殿 武雄 氏
- ②第94回空間情報話題交換会 (2018年4月27日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「モービルマッピングシステムによる河川堤防モニタリング」 株式会社パスコ 間野 耕司 氏
- ③第96回空間情報話題交換会 (2018年10月26日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「ドローンリモートセンシングによる水稲の生育管理の可能性」 東北工業大学 牧 雅康 氏
- ④第97回空間情報話題交換会 (2018年12月7日, 大阪府立大学・I-site なんば)  
「3次元センシング情報の取得・処理・活用～道路・河川を対象に～」 関西大学 窪田 論 氏

## (2) 平成30年度関西支部総会・特別講演会 (2018年6月29日, 大阪府立大学・I-site なんば)

### a) 総会

平成29年度事業、平成29年度収支決算について報告があり、平成30年度事業計画案、平成30年度収支予算案について審議の結果、満場一致で了承を得て平成30年度の事業を進めることになりました。なお、平成30年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	吉村充則	東京大学 空間情報科学研究センター	幹 事	名草一成	国際航業(株)
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹 事	内田 修	アジア航測(株)
副支部長	須崎純一	京都大学大学院	幹 事	田中一成	大阪工業大学
事務局長	山野高志	大阪府立大学工学高等専門学校	幹 事	植松 恒	京都市教育委員会
幹 事 長	山下 恵	東京農工大学	幹 事	間野耕司	(株)パスコ
幹 事	中村孝之	国土地理院	監 事	村尾吉章	日本アイ・ピー・エム(株)
幹 事	廣田安男	(株)かんこう	顧問	柳川重信	(株)パスコ
幹 事	小野 徹	(株)ズームスケープ	顧問	木村雅俊	(株)かんこう
				*会計担当幹事	

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の2件のご講演をいただきました。本講演会は第95回空間情報話題交換会を兼ねて開催され、総勢78名が参加しました。

「地籍調査の課題-市町村へのメッセージ」 東京大学 清水英範 氏  
「わたしと、測量、45年」 株式会社パスコ 柳川重信 氏

また、特別講演会終了後には、本総会で退任となった柳川元支部長の永年にわたる支部発展への寄与を称え、記念パーティーを開催しました。記念パーティーでは柳川元支部長に記念品が贈呈されるとともに、これまで

## 支部長へ



写真1 平成30年度関西支部総会・特別講演会の様子（講演者の清水英範氏（右上）、柳川重信氏（右下））

## (3) 2018年基礎から学ぶ空間情報学講習会 (2018年8月3日, 大阪府立大学・I-site なんば)

関西支部ではこれまで、「デジタル写真測量」・「衛星リモートセンシング」・「レーザ計測」・「地理情報システム (GIS)」の内容で空間情報学講習会を基礎編 (2013年)、基礎～中級編 (2014年および2015年)と開催し、2016年からは基礎編に立ち返って継続開催してきました。2巡目の3年目となる本年度は、空間情報学の基礎となる「座標系」の説明とともに、「レーザ計測」と「GIS」の基礎から中級編の講習会を開催しました。参加者数は25名となり、盛会のうちに終えることができました。

## (4) 第14回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2018年9月14日, 大阪府立大学・I-site なんば)

本年で14回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは30才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。参加者数36名の下、11編(社会人4編、学生7編)の発表がありました。また内2編は英語での発表と質疑応答が行われました。詳しくは本誌Vol.57, No.5, pp.227-228の「活動報告」をご覧ください。

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに (<http://www.jsprs-w.org/>) 掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。



# 2019年度 の支部活動

関西支部では、2019年度に空間情報話題交換会、支部総会・講演会、講習会、技術発表会を開催しました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では、主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。Vol.57, No.6 (2018年)の学会誌に掲載された活動報告以降、次のような話題提供がありました。

①第98回空間情報話題交換会 (2019年2月1日, 大阪府立大学・I-site なんば)

「鉄道におけるGISの整備と活用事例の紹介」

ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 吉川 悟 氏

②第99回空間情報話題交換会 (2019年4月19日, 大阪府立大学・I-site なんば)

「UAV空撮画像における3次元モデリング (SfM/MVS) ソフトウェアの形状特性比較」

阪南大学 北川 悦司 氏

③第101回空間情報話題交換会 (2019年10月18日, 大阪府立大学・I-site なんば)

「衛星リモートセンシングの実用化へのチャレンジャー-社会実装への視点を交えた事例紹介-」

国際航業株式会社 赤松 幸生 氏

④第102回空間情報話題交換会 (2019年12月13日, 大阪府立大学・I-site なんば)

「国土地理院近畿地方測量部における地理空間情報活用促進に向けた取り組み」

国土地理院近畿地方測量部 宮本 歩 氏

「2019年度の国土地理院の災害対応と技術開発に対する取り組み」

国土地理院 基本図情報部 笹川 啓 氏

(2) 令和元年度関西支部総会・特別講演会 (2019年6月28日, 大阪府立大学・I-site なんば)

### a) 総会

平成30年度事業、平成30年度収支決算について報告があり、令和元年度事業計画案、令和元年度収支予算案について審議の結果、満場一致で了承を得て令和元年度の事業を進めることになりました。なお、令和元年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	吉村充則	東京大学	幹 事	内田 修	アジア航測(株)
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹 事	田中一成	大阪工業大学
副支部長	須崎純一	京都大学大学院	幹 事	植松 恒	京都市教育委員会
事務局長	山野高志	大阪府立大学工業高等専門学校	幹 事*	開野耕司	(株) パスコ
幹 事 長	山下 恵	東京農工大学	監 事	村尾吉章	ESRI ジャパン(株) *
幹 事	山本洋一	国土地理院	顧 問	柳川重信	(株) パスコ
幹 事	廣田安男	(株)かんこう	顧 問	木村雅俊	(株)かんこう
幹 事	小野 徹	(株)ズームスケープ			* 会計担当幹事
幹 事	名草一成	国際航業(株)			** 11月末まで日本アイ・ビー・エム(株)

## 話題交換会も 約20年100回 を迎える

### b) 特別講演会

総会後の特別講演会では、次の2件のご講演をいただきました。本講演会は空間情報話題交換会の第100回開催記念特別講演会として開催され、総勢82名が参加しました。

「イノベーション」 株式会社パスコ 島村 秀樹 氏

「話題交換会開始から約20年、100回を振り返る」 日本写真測量学会関西支部役員一同

また、特別講演会終了後には、話題交換会100回開催記念パーティを開催しました。記念パーティでは過去の話題交換会の写真がスライドショーで放映され、これまでの支部活動に関わってこられた産官学からの参加者、学生時代に「若手技術者・研究者による技術研究発表会」で発表を経験された方々など多数の参加者に恵まれ、盛会裡に終えることができました。



写真1 令和元年度関西支部総会・特別講演会の様子

(3) 2019年基礎から学ぶ空間情報学講習会 (2019年8月2日, 大阪府立大学・I-site なんば)

日本写真測量学会関西支部では、空間情報の計測と利用に関する技術を基礎から学ぶ空間情報学講習会を2013年から継続して開催してきました。3年を1期とし、1年目で4分野(写真測量・衛星リモートセンシング・レーザ計測・GIS)の基礎編を、2・3年目で2分野ずつの基礎～中級編の講習会を開催しました。3巡目を迎えた今年度は改めて基礎編に戻り、新たに空間情報学の基礎についての内容を加えたうえで、写真測量・衛星リモートセンシング・レーザ計測・GISの講習を開催しました。参加者数は36名となり、盛会のうちに終えることができました。

(4) 第15回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2019年9月20日, 大阪府立大学・I-site なんば)

本年で15回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは35才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。参加者数46名のもと、12件(社会人4件、学生8件)の発表がありました。また内4件は英語での発表と質疑応答が行われました。詳しくは本誌Vol.58, No.5, pp.272-273の「活動報告」をご覧ください。

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページに(<http://www.jsprs-w.org/>)掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。



関西支部では、新型コロナウイルス感染症の流行により例年開催しておりました講習会を中止しましたが、オンラインツールを活用することで空間情報話題交換会、支部総会、技術研究発表会を開催することが出来ました。以下に概要を報告します。

(1) 空間情報話題交換会

関西支部では主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。コロナウイルス感染症が世界的に流行する前の2月には、従来通りカンファレンス・ルームを用いた対面開催(写真1)を行えたものの、日本政府による緊急事態宣言が発令された4月以降の開催は延期とし、情勢を見守ることとなりました。しかしながら依然として感染状況の収束が見えないこと、また後述の技術研究発表会の開催を経てWebミーティングツールの運用ノウハウが得られたことにより、12月から完全オンラインイベントとして開催を再開することが出来ました。学会誌 Vol.58, No.6 (2019年)に掲載された支部活動報告以降に行われた話題提供は、以下の通りとなっています。

①第103回空間情報話題交換会(2020年2月7日,大阪府立大学・I-site なんば)

「オープンデータ×オープンソース ～流行っているからこそ知っておきたい現状と可能性～」  
朝日航洋株式会社 G空間研究所 大伴 真吾 氏

②第104回空間情報話題交換会(2020年12月4日,オンライン開催)

「衛星搭載型光学センサデータの高品質化と天然色画像生成技術の開発に関する研究」  
産業技術総合研究所・地質情報研究部門 山本 浩万 氏

(2) 令和元年度関西支部総会(2020年6月26日,オンライン議決)

いわゆる感染第一波は収束していたものの、第二波到来の兆しがあったため、対面での開催は行わずメールを用いた電子資料配布と議決を行うこととなりました。それにともない、従来は総会と同時開催していた特別講演会については中止といたしました。議決には期間を設け、6月18日に総会資料を配布、25日まで議決投票を受け付けたいうで、26日に議決結果を発表・報告いたしました。

総会資料の内容については、令和元年度事業と令和元年度収支決算についての報告があり、令和2年度事業計画案ならびに令和2年度収支予算案を議決対象としました。投票の結果、異議なく了承を得て令和2年度の事業を進めることになりました。なお、令和2年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	吉村充則	東京大学	幹 事	内田 修	アジア航測(株)
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹 事	田中一成	大阪工業大学
副支部長	須崎純一	京都大学大学院	幹 事	植松 恒	京都市教育委員会
事務局長	山野高志	大阪府立大学工業高等専門学校	幹 事*	間野耕司	(株) パスコ
幹 事 長	山下 恵	東京農工大学	監 事	村尾吉章	ESRI ジャパン(株)
幹 事	山本洋一	国土地理院	顧問	柳川重信	
幹 事	廣田安男	(株)かんこう	顧問	木村雅俊	(株)かんこう
幹 事	小野 徹	(株)ズームスケープ			* 会計担当幹事
幹 事	名草一成	国際航業(株)			

# 2020年度 の支部活動

## コロナの蔓延により活動自粛やオンラインでの開催へ



写真1 対面形式で開催された第103回話題交換会の様子

(3) 第16回若手技術者・研究者による技術研究発表会(2020年9月18日,ハイブリッド開催)

本年度で16回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは40才以下の社会人を対象とした技術研究発表会です。夏に生じた感染第二波が収まらない状況ではありましたが、修士課程の修了を控えた大学院生にとって学外での発表機会は貴重であることから、例年通りの9月の開催を実現すべく感染対策とオンライン化の両面で準備を進めました。

Zoomのウェビナー機能を用いたオンライン発表を基本としつつ、希望する場合は大阪府立大学・I-site なんばと東京農工大学に設けられた2つの会場にて対面発表を行うという、ハイブリッド形式での開催としました(写真2)。結果12件がオンラインで、5件が対面での発表となり、聴講者も含めた参加者は合計59名となりました。発表プログラムや感染対策ならびにハイブリッド形式の詳細については、本誌 Vol.59, No.5, pp.233-235の「活動報告」をご覧ください。



写真2 ハイブリッド形式で開催された若手技術者・研究者による技術研究発表会の様子

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページ(<http://www.jsprs-w.org/>)に掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。

最後になりましたが、ZoomのProライセンスとウェビナー機能の費用をご負担いただきました日本写真測量学会事務局の皆様、ならびに初のオンラインでのイベント開催にご理解とご協力をいただきました参加者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

# 2021年度の 支部活動

関西支部では新型コロナウイルス感染症の流行が継続するなか、講習会を昨年度に続いて中止しましたが、オンラインツールを活用することで空間情報話題交換会、支部総会、技術研究発表会を開催することが出来ました。以下に概要を報告します。

## (1) 空間情報話題交換会

関西支部では主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。2020年は2回しか開催出来ませんでした。2021年はオンラインイベントとして開催を再開しています。学会誌 Vol. 59, No. 6 (2020年)に掲載された支部活動報告以降に行われた話題提供は、以下の通りとなっています。

### ①第105回空間情報話題交換会 (2021年2月5日, オンライン開催)

「MMSによるスマート測量へのチャレンジ ～MMS利用の取り組みと、活用事例～」

株式会社パスコ 新空間情報事業部 西村 修 氏

### ②第106回空間情報話題交換会 (2021年4月30日, オンライン開催)

「地域住民と考える道路閉塞の危険性と避難に与える影響 ～GISとARを活用して～」

摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 榎 愛 氏

### ③第108回空間情報話題交換会 (2021年8月27日, オンライン開催)

「地理空間情報技術による森林の計測 ～リモートセンシングとGNSSを中心に～」

三重大学 松岡 真如 氏

### ④第109回空間情報話題交換会 (2021年10月29日, オンライン開催)

「土地被覆分類データの空間精度・空間誤差」

埼玉大学 堤田 成政 氏

### ⑤第110回空間情報話題交換会 (2021年12月3日, オンライン開催)

「空中写真測量の現状と将来の展望」

アジア航測株式会社 空間情報技術センター 久保 学 氏

## (2) 令和3年度関西支部総会 (2021年6月25日, オンライン議決)

前年度に続き、対面での開催は行わずメールを用いた電子資料配布と議決を行うこととなりました。議決には期間を設け、6月17日に総会資料を配布、24日まで議決投票を受け付けたうえで、25日に議決結果を発表・報告いたしました。

総会資料の内容については、令和2年度事業と令和2年度取支決算についての報告があり、令和3年度事業計画案ならびに令和3年度取支予算案を議決対象としました。投票の結果、異議なく了承を得て令和3年度の事業を進めることになりました。なお、令和3年度の支部役員は以下のとおりです。

支部長	吉村 充則	東京大学	幹事	田中 一成	大阪工業大学
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹事	間野 耕司	㈱パスコ
副支部長	須崎 純一	京都大学大学院	幹事*	森島 章仁	㈱パスコ
事務局長	山野 高志	大阪府立大学工業高等専門学校	監事	村尾 吉章	ESRI ジャパン㈱
幹事長	山下 恵	東京農工大学	顧問	柳川 重信	GIS 支援センター
幹事長	滝川 正則	アジア航測㈱	顧問	木村 雅俊	㈱かんこう
幹事	船津 裕司	国土地理院	*会計担当幹事		
幹事	久保 斉	㈱かんこう			
幹事	小野 徹	㈱ズームスケープ			
幹事	元木 健太	国際航業㈱			

### (3) 特別講演会 (2021年6月25日, オンライン開催)

総会の議決と同日には特別講演会をオンラインで開催し、次の2件のご講演をいただきました。本講演会は空間情報話題交換会の第107回を兼ねる形で開催され、総勢81名が参加しました。

「シミュレーションで探る首都直下地震の様相と備え」

東京工業大学 大佛 俊泰 氏

「豪雨の予兆を捉える ～豪雨のタマゴとタネ～」

京都大学 山口 弘誠 氏

## 1年遅れで 世代交代を図る 支部役員



写真1 特別講演会のオンライン中継会場の様子

### (4) 第17回若手技術者・研究者による技術研究発表会 (2021年9月17日, オンライン開催)

本年度17回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは40才以下の社会人を対象とした技術研究発表会で、発表技術向上と研究発展に資することを目的としています。今年は完全にオンラインでの開催となりました。

修士論文や博士論文の発表会に繋がる、比較的完成度の高い「研究・討議」のセッションでは8編が、続いて修士論文や博士論文の研究に着手したばかり、あるいは研究の方向性を模索する段階での発表を想定した「萌芽的研究」では4編が、さらに所属組織での新技術の利用や実務業務内容の報告を中心とする「社会人による研究・技術報告」では6編の発表が行われました。より詳細な内容は、本誌 Vol. 60, No. 5, p.289の「活動報告」をご覧ください。

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページ (<http://www.jsprs.w.org/>)に掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。



# 2022年度の 支部活動

## 関西支部活動報告

新型コロナウイルス感染症の流行が継続するなか、関西支部ではオンラインツールを活用することで講習会を除き空間情報話題交換会、支部総会、技術研究発表会を開催してきました。今年度途中からは、一部行事について対面での開催を復活しました。以下に概要を報告します。

### (1) 空間情報話題交換会

関西支部では主要な活動として2ヶ月に1度、偶数月の最終金曜日にテクニカルセミナー・空間情報話題交換会を開催しています。2021年はオンラインでのみ開催しておりましたが、2022年10月からは対面での開催を再開することが出来ました(写真)。学会誌 Vol.60, No.6 (2021年)に掲載された支部活動報告以降に行われた話題提供は、以下の通りとなっています。

#### ① 第111回空間情報話題交換会(2022年2月4日, オンライン開催)

「自律四足歩行ロボットを用いた三次元計測事例及び航空レーザの海外技術動向事例」  
株式会社ニコン・トリンプル 町田政彦氏・昆野敦氏

#### ② 第112回空間情報話題交換会(2022年4月22日, オンライン開催)

「官民の空間情報連携推進事業の事例」  
東京都市大学 建設都市計画学部 佐藤誠氏

#### ③ 第114回空間情報話題交換会(2022年8月26日, オンライン開催)

「貝塚市立ドローン・クリケットフィールドの整備経緯とその目的について」  
～高度利用化に向けた取組みの紹介～  
貝塚市 都市政策部政策推進課 永井了氏  
「貝塚市版 UAV レーザ測量運用手順要領検討のための数値地図の比較検証について」  
一般社団法人GIS支援センター 一氏 昭吉氏

#### ④ 第115回空間情報話題交換会(2022年10月21日, 大阪公立大学・I-site なんば)

「環礁国での海岸地形変化研究における空間情報の活用事例」  
摂南大学 理工学部 都市環境工学科 佐藤 大作 氏

#### ⑤ 第116回空間情報話題交換会(2022年12月9日, 大阪公立大学・I-site なんば)

「農業分野における空間情報技術の社会実装の現状と課題」  
国際航業株式会社 鎌形 哲総 氏



ほぼ2年半の間、対面開催がなく、再開後は参加者が減  
生活習慣の変化に伴うものなのか？

#### (2) 令和4年度関西支部総会(2022年6月24日, オンライン議決)

前年度に続き、対面での開催は行わずメールを用いた電子資料配布と議決を行うこととなりました。議決には期間を設け、6月16日に総会資料をホームページに掲載してメーリングリストで連絡、23日まで議決投票を受け付けたくえて、24日に議決結果を発表・報告いたしました。

総会資料の内容については、令和3年度事業と令和3年度収支決算についての報告があり、令和4年度事業計画案ならびに令和4年度収支予算案を議決対象としました。投票の結果、異議なく了承を得て令和4年度の事業を進めることとなりました。なお、令和4年度の支部役員は以下のとおりです。

支 部 長	吉村充則	東京大学	幹 事	久保 幸	(株)かんこう
副支部長	熊谷樹一郎	摂南大学	幹 事	小野 徹	(株)ズームスケープ
副支部長	須崎純一	京都大学大学院	幹 事	元木健太	国際航業(株)
事務局長	山野高志	大阪公立大学工業高等専門学校	幹 事	田中一成	大阪工業大学
幹 事 長	山下 恵	東京農工大学	幹 事	森島章仁	(株)パスコ
幹 事 長	滝川正則	アジア航測(株)	監 事	村尾吉章	ESRI ジャパン(株)
幹 事	船津裕司	国土地理院	顧問	柳川重信	GIS支援センター
			顧問	木村雅俊	(株)かんこう

\* 会幹担当幹事

#### (3) 特別講演会(2022年6月24日, オンライン開催)

総会の議決と同日には特別講演会をオンラインで開催し、次の2件のご講演をいただきました。本講演会は空間情報話題交換会の第113回を兼ねる形で開催され、総勢64名が参加しました。

「空間的ネクサスアプローチによる脱炭素型持続可能なまちづくり支援」

慶応大学 巖 綱林 氏

「SDGs 未来都市横浜の挑戦とこれから・・・ヨコハマ SDGs デザインセンターの役割」

神戸大学 信時 正人 氏

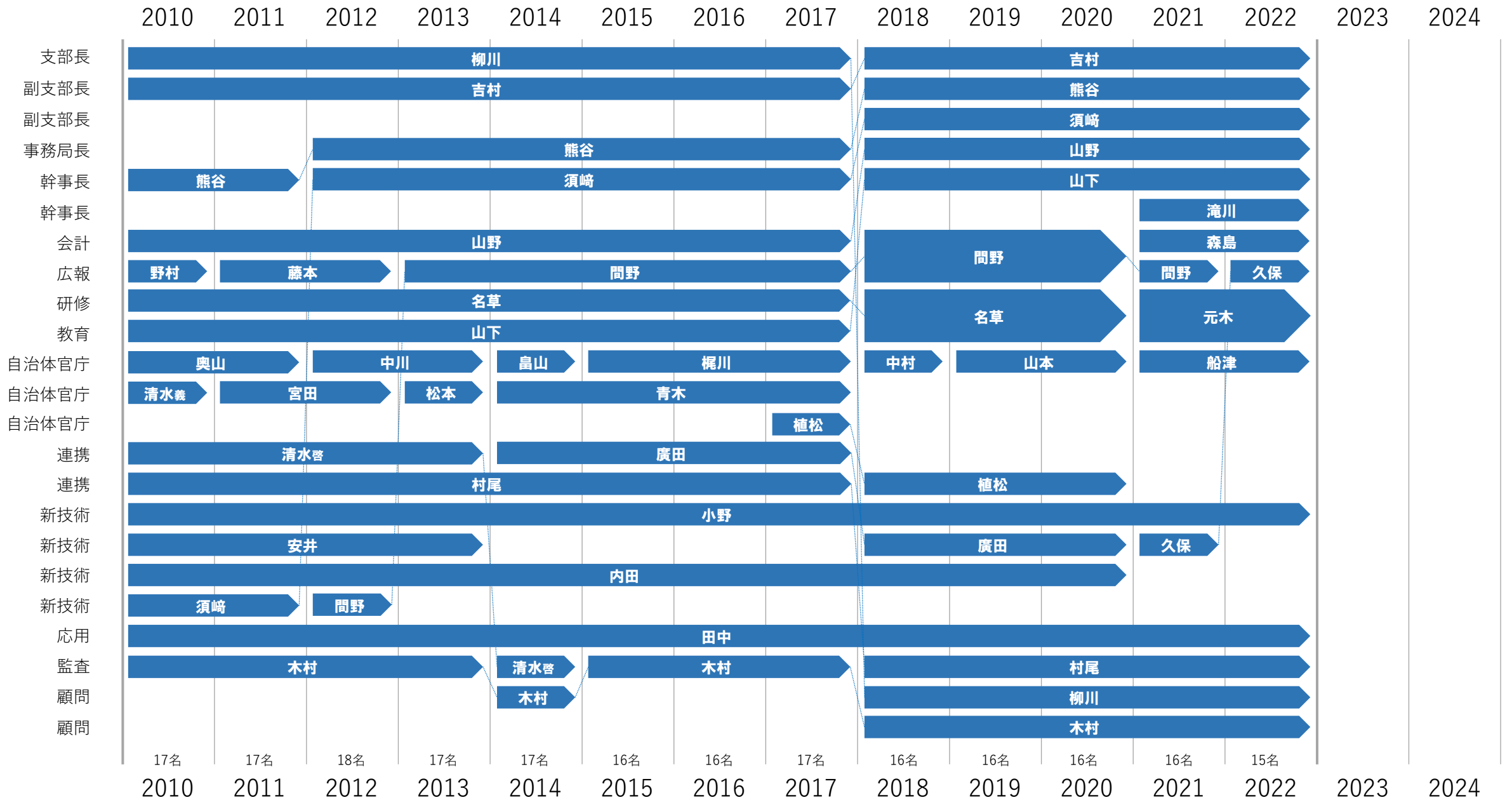
#### (4) 第18回若手技術者・研究者による技術研究発表会(2022年9月9日, 大阪公立大学・I-site なんば)

本年度で18回目となった「若手技術者・研究者による技術研究発表会」は、空間情報の生成や利用・応用といった分野に携わる学生あるいは40才以下の社会人を対象とした技術研究発表会で、発表技術向上と研究発展に資することを目的としています。今年は3年ぶりに発表者・聴講者ともに会場に赴いての対面開催とすることが出来ました。

修士論文や博士論文の発表会に繋がる、比較的完成度の高い「研究・討議」のセッションでは7編が、続いて修士論文や博士論文の研究に着手したばかり、あるいは研究の方向性を模索する段階での発表を想定した「萌芽的研究」では5編が、さらに所属組織での新技術の利用や実務業務内容の報告を中心とする「研究・技術報告」では5編の発表が行われました。より詳細な内容は、本誌 Vol.61, No.5, p.346の「活動報告」をご覧ください。

以上の活動内容の詳細やこれまでの活動記録につきましては、支部ホームページ (<http://www.jsprs-n.org/>)に掲載しています。今後の活動内容につきましても随時更新していきますので、ご覧ください。

# 日本写真測量学会関西支部 役員の変遷 (2010~2022)





# 話題交換会開催場所の変遷

初回2000年12月8日のみ「摂南大学寝屋川キャンパス」で開催し、

第2回2001年1月12日から第42回 話題交換会 2007年12月7日までは、  
天満橋にある「エルおおさか」、

第43回2008年2月23日から第87回2016年12月2日までは、  
西梅田の「常翔学園・大阪センター」、  
第88回2017年2月3日のみ「摂南大学寝屋川キャンパス」で開催し、

第89回2017年4月28日から本日の第119回まで、  
なんばの「大阪公立大学(旧大阪府立大学) I-siteなんば」で開催継続中。  
ただし、

第103回2020年2月7日を開催後、第104回2020年12月4日をオンラインで再開するまでの10ヶ月間中断、  
その後第114回2022年8月26日(金)までの1年4ヶ月間 オンラインのみでの開催を続け、  
第115回2022年10月21日から本来の対面開催に戻す

# 話題交換会後懇親会場の変遷

初回2000年12月8日のみ「摂南大学寝屋川キャンパス」では、大学内の施設(サロン?)

第2回2001年1月12日から第42回 話題交換会 2007年12月7日までは、

天満橋にある「エルおおさか」地下にあるレストラン、その後、ビジネスホテル貸し切り  
ルーム、さらに某チェーンの居酒屋

第43回2008年2月23日から第87回2016年12月2日までは、

西梅田の「常翔学園・大阪センター」の入る建物内のレストランで、  
二次会にはこの上なく便利な場所だった。

第88回2017年2月3日のみ「摂南大学寝屋川キャンパス」で開催し、

第89回2017年4月28日から本日の第119回まで、

なんばの「大阪公立大学(旧大阪府立大学) I-siteなんば」でに移ってからは、  
会場直近のレストランで立食形式。

対面再開後は、公式には懇親会開催はしていないが、うちうちで開催。

しかし、なかなか場所が固定できないのが悩みの種

# 締めの一言

- 関西にも空間情報を専門とする大学教員が増えてきた
- これまでに培ってきた関西支部の信用・信頼をさらに大きなものとしていって欲しい
- 改めて「情報発信を関西から」の旗の下、多くの技術者や研究者が集う場所であり続けて欲しい
- 役員だけでなく、多くの皆さまより一層の積極的な貢献を祈らずにはいられない(役員やらせろの提案があってもいい)
- 運営面における解決すべき課題があることは否めない
- 今後、熊谷新支部長の下、より一層の支部活動活発化と、その結果による課題解決を祈念します

資料作成に当たって学会本部事務局の岩下さん、新支部長の熊谷先生、事務局の山野先生には、多大なご協力をいただきました。ここに記して謝意を表します。